

対象校No. 918
注4

学校コード F128310108794
注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2
兵庫大学 教育学部 教育学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人睦学園
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	経営企画部 経営企画課
職名・氏名	課長代行・小林 大輔
電話番号	079-427-5111 (内線: 6417)
(夜間)	079-427-5111 (内線: 6417)
e-mail	p-office@hyogo-dai.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合: 「〇〇大学」
・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

教育学部

＜教育学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. 既設大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	20
6. 附帯事項等に対する履行状況等	39
7. その他全般的事項	41

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人睦学園

(2) 大 学 名

兵庫大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒675-0195

兵庫県加古川市平岡町新在家2301番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ワタナベ アズマ) 渡 邊 東 (平成20年1月)	(コウノ マコト) 河 野 真 (令和4年11月)	任期満了に伴う変更(5)
学 長	(コウノ マコト) 河 野 真 (令和4年11月)		
学 部 長	(セキ ヒロカズ) 關 浩和 (令和5年4月)		
学科長等	(マツダ ノブキ) 松 田 信樹 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和6年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
教育学部 教育学科 学士（教育学）	教育学・保育学関係	4年	100人	2年次 0人 3年次 5人 4年次 0人	410人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	100人 (—) [—]	— (—) [—]	100人 (—) [—]	— (—) [—]	—	0.68倍	—	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	246 (—) [—]	— (—) [—]	165 (—) [—]	— (—) [—]				
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	207 (—) [—]	— (—) [—]	153 (—) [—]	— (—) [—]				
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	185 (—) [—]	— (—) [—]	132 (—) [—]	— (—) [—]				
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	69 (—) [—]	— (—) [—]	67 (—) [—]	— (—) [—]				
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	0.69	—	0.67	—				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
- なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設けを予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」に「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
- （春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。）
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
- ・ 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	69 [—] (—)	— [—] (—)	67 [—] (—)	— [—] (—)	
2 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	68 [—] (—)	— [—] (—)	
3 年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	69 [0] (0)	— [0] (0)	135 [0] (0)	— [0] (0)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	68 人	1 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	1 人	0 人	就学意欲の低下
令和6年度	135 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		1 人		1 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の数値を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{68} = \boxed{1.47} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{135} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<教育学部 教育学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	建学の精神	宗教と人生	1後	2								1
		仏教と現代社会	1後	2								1
		兵庫大学の学びと和	1後	2								2
		地域と仏教	1前	1								2
		兵大京都学	1後	1								2
	小計(5科目)		-	2	6	0	0	0	0	0	0	4
	コミュニケーション	日本語(読解と表現)	1前	2								1
		英語	1後	2								2
		実用英語Ⅰ	1後	2								1
		実用英語Ⅱ	2前	2								1
		中国語(初級)	1前	2								1
		中国語(中級)	1後	2								1
		韓国語(初級)	1前	2								1
		韓国語(中級)	1後	2								1
		コンピュータ演習	1前	2								1
		コンピュータグラフィックの基礎	1後	2								2
	小計(10科目)		-	6	14	0	0	0	0	0	0	9
	国際理解	国際理解と宗教Ⅰ(キリスト教)	1前	2								1
		国際理解と宗教Ⅱ(イスラム教)	1後	2								1
		国際関係論	1後	2								1
		比較文化論	1後	2								1
	小計(4科目)		-	0	8	0	0	0	0	0	0	4
	歴史と文化	歴史学	1前	2								1
		文学	1後	2								1
		色彩のデザイン	1前	2								1
	小計(3科目)		-	0	6	0	0	0	0	0	0	3
	地域に学ぶ	地域文化論	1後	2								1
		建築デザインと地域	1後	2								1
		地域と文化財	1前	2								1
		地域資料を読む	1後	2								1
		日本の伝統文化「将棋」を学ぶ	1前	2								1
		ファシリテーション入門	1前	2								3
	小計(6科目)		-	0	12	0	0	0	0	0	0	5
	現代社会を読み解く	哲学	1前	2								1
		日本国憲法	1前	2								1
		人権の歴史	1前	2								1
		政治学	1前	2								1
		社会学	1前	2								1
		経済学	1前	2								1
		現代社会の理解	1前	2								1
	小計(7科目)		-	2	12	0	0	0	0	0	0	7
	自然と科学	生命倫理学	1前	2								1
		心理学	1前	2								1
		化学	1前	2								1
		生物学	1前	2								1
		身のまわりの科学	1前	2								2
		プログラミング入門	1後	2								1
	小計(6科目)		-	0	12	0	0	0	0	0	0	6
	くらしと健康	食と健康	1後	2								1
		健康・スポーツⅠ(講義)	1後	2								1
		健康・スポーツⅡ(実技)	1前	1								2
		健康・スポーツⅢ(実技)	1後	1								1
	小計(4科目)		-	2	4	0	0	0	0	0	0	4
	キャリアデザイン	わたしのためのキャリア設計	1前	2								1
		ヒューマンサービスとマネジメント	3後	2								3
		入門ボランティア	1通	2								3
		小計(3科目)	-	0	6	0	0	0	0	0	0	6

【令和6年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					業 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通教育科目	建学の精神	宗教と人生	1後	2								1
		仏教と現代社会	1後	2								1
		兵庫大学の学びと和	1後	2								2
		地域と仏教	1前	1								2
		兵大京都学	1後	1								2
		小計(5科目)	－	2	6	0	0	0	0	0	0	4
	コミュニケーション	日本語(読解と表現)	1前	2								1
		英語	1後	2								1
		実用英語Ⅰ	1後	2			1					0
		実用英語Ⅱ	2前	2								1
		中国語(初級)	1前	2								1
		中国語(中級)	1後	2								1
		韓国語(初級)	1前	2								1
		韓国語(中級)	1後	2								1
		コンピュータ演習	1前	2				1				1
		コンピュータグラフィックの基礎	1後	2								2
	小計(10科目)	－	6	14	0	1	2	0	0	0	8	
	国際理解	国際理解と宗教Ⅰ(キリスト教)	1前	2								1
		国際理解と宗教Ⅱ(イスラム教)	1後	2								1
		国際関係論	1後	2								1
		比較文化論	1前	2								1
		小計(4科目)	－	0	8	0	0	0	0	0	0	4
	歴史と文化	歴史学	1前	2								1
		文学	1後	2								1
		色彩のデザイン	1前	2								1
		小計(3科目)	－	0	6	0	0	0	0	0	0	3
	地域に学ぶ	地域文化論	1後	2								1
		建築デザインと地域	1後	2								1
		地域と文化財	1前	2								1
		地域資料を読む	1後	2								1
		日本の伝統文化「将棋」を学ぶ	1前	2								1
		ファシリテーション入門	1前	2								3
		小計(6科目)	－	0	12	0	0	0	0	0	0	5
	現代社会を読み解く	哲学	1前	2								1
		日本国憲法	1前	2								1
		人権の歴史	1前	2								1
		政治学	1前	2								1
		社会学	1前	2								1
		経済学	1前	2								1
		小計(6科目)	－	2	10	0	0	0	0	0	0	6
	自然と科学	生命倫理学(未開講)	1前	2								1
		心理学	1前	2								1
		化学	1前	2								1
		生物学	1前	2								1
		身のまわりの科学	1前	2								2
		プログラミング入門	1後	2								1
		ICT・データ活用入門	1前	2								2
		数学基礎	1後	2								1
		AI・データサイエンス活用論	1後	2								1
		小計(9科目)	－	0	18	0	0	0	0	0	0	8
	くらしと健康	食と健康	1後	2								1
		健康・スポーツ科学Ⅰ(講義)	1後	2								2
		健康・スポーツ科学Ⅱ(実技)	1前	1								2
		健康・スポーツ科学Ⅲ(実技)	1後	1								1
		小計(4科目)	－	2	4	0	0	0	0	0	0	5
	キャリアデザイン	わたしのためのキャリア設計	1前	2								1
		ヒューマンサービスとマネジメント	4後	2								3
		入門ボランティア	1通	2								3
		小計(3科目)	－	0	6	0	0	0	0	0	0	6

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
				必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
専門教育科目	ゼミナール科目	クラスゼミナールⅠ	1前	2			3	1	1			
		クラスゼミナールⅡ	1後	2			2	3				
		クラスゼミナールⅢ	2前	2			2	2	1			
		クラスゼミナールⅣ	2後	2			2	2				
		卒業研究Ⅰ	3前	2			9	8	2			
		卒業研究Ⅱ	3後	2			9	8	2			
		卒業研究Ⅲ	4前	2			9	8	2			
		卒業研究Ⅳ	4後	2			9	8	2			
		小計(8科目)	-	16	0	0	9	8	2	0	0	0
	教育・保育実践科目	こどもと健康	1前		1							1
		こどもと人間関係	1前		1			1				
		こどもと環境	1後		1							1
		こどもと言葉	1前		1			1				
		こどもと表現	1後		1		1	1				1
		こどもとサイエンス	2後		1			1				
		(こどもと科学遊び)										
		保育内容総論	2後		1							1
		保育内容「健康」の指導法	2後		2							1
		保育内容「人間関係」の指導法	2後		2							2
		保育内容「環境」の指導法	2前		2							1
		保育内容「言葉」の指導法	2後		2			1				
		保育内容「表現」の指導法	2前		2		1	1				1
		小計(12科目)	-	0	17	0	1	4	0	0	0	5
	教育・保育実践科目	音楽Ⅰ	1前		1			2				
		音楽Ⅱ	1後		1			2				
		総合表現教育Ⅰ	1後		1		1	1				1
		総合表現教育Ⅱ	2前		1		1	1				1
		教師・保育者論	3前		2			1				
		教育・保育の課程と評価	2前		2			1				
		幼児理解	2後		1		1					
		保育原理	1前		2			1				
		こども家庭福祉	2前		2		1					
		社会福祉	1前		2		2					
		こども家庭支援論	2前		2							1
		こども家庭支援の心理学	3後		2							1
		こどもの保健	1後		2							1
		こどもの食と栄養Ⅰ	2前		1							1
		こどもの食と栄養Ⅱ	2後		1							1
		乳児保育Ⅰ	1前		2							1
		乳児保育Ⅱ	1後		1							1
		こどもの健康と安全	2後		1							1
		特別支援教育Ⅰ	2前		1			1				
		特別支援教育Ⅱ	2後		1			1				
		社会的養護Ⅰ	2前		2							1
		社会的養護Ⅱ	3前		1							1
		子育て支援	2後		1							1
		青年心理学	3後		2		1					
		小計(24科目)	-	0	35	0	4	5	0	0	0	9
	教育・保育実践科目	初等国語科内容論	1前		1		1					
		初等社会科内容論	1前		1		1					
		初等算数科内容論	1後		1		1					
		初等理科内容論	1前		1			1				
		初等生活科内容論	1後		1		1					
		初等音楽科内容論	1前		1			1				
		初等図画工作科内容論	1後		1		1					
		初等家庭科内容論	1前		1							1
		初等体育科内容論	1後		1							1
		初等英語科内容論	1後		1							1
		小計(10科目)	-	0	10	0	4	2	0	0	0	3
	教育・保育実践科目	初等国語科教育法	2後		2		1					
		初等社会科教育法	2後		2		1					
		初等算数科教育法	2前		2		1					
		初等理科教育法	2後		2			1				
		初等生活科教育法	2前		2		1					
		初等音楽科教育法	2後		2			1				
		初等図画工作科教育法	2前		2		1					
		初等家庭科教育法	2後		2							1
		初等体育科教育法	2前		2							1
		初等英語科教育法	2前		2							1
		小計(10科目)	-	0	20	0	4	2	0	0	0	3

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
				必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
専門教育科目	ゼミナール科目	クラスゼミナールⅠ	1前	2			3	2				
		クラスゼミナールⅡ	1後	2			3	2				
		クラスゼミナールⅢ	2前	2			3	1	1			
		クラスゼミナールⅣ	2後	2			2	2				
		卒業研究Ⅰ	3前	2			10	7	1			
		卒業研究Ⅱ	3後	2			10	7	1			
		卒業研究Ⅲ	4前	2			10	7	1			
		卒業研究Ⅳ	4後	2			10	7	1			
		小計(8科目)	-	16	0	0	10	7	1	0	0	0
	教育・保育実践科目	こどもと健康	1前		1							1
		こどもと人間関係	1前		1			1				
		こどもと環境	1後		1		1					
		こどもと言葉	1前		1			1				
		こどもと表現	1後		1		2					1
		こどもとサイエンス	2後		1			1				
		(こどもと科学遊び)										
		保育内容総論	2後		1							1
		保育内容「健康」の指導法	2後		2							1
		保育内容「人間関係」の指導法	2後		2		1					
		保育内容「環境」の指導法	2前		2		1					
		保育内容「言葉」の指導法	2後		2			1				
		保育内容「表現」の指導法	2前		2		2					1
		小計(12科目)	-	0	17	0	4	3	0	0	0	2
	教育・保育実践科目	音楽Ⅰ	1前		1		2					
		音楽Ⅱ	1後		1		2					
		総合表現教育Ⅰ	1後		1		2					1
		総合表現教育Ⅱ	2前		1		2					1
		教師・保育者論	3前		2							
		教育・保育の課程と評価	2前		2							
		幼児理解	2後		1		1					
		保育原理	1前		2							
		こども家庭福祉	2前		2		1					
		社会福祉	1前		2		2					
		こども家庭支援論	2前		2		1					
		こども家庭支援の心理学	3後		2							1
		こどもの保健	1後		2							1
		こどもの食と栄養Ⅰ	2前		1							1
		こどもの食と栄養Ⅱ	2後		1							1
		乳児保育Ⅰ	1前		2							1
		乳児保育Ⅱ	1後		1							1
		こどもの健康と安全	2後		1							1
		特別支援教育Ⅰ	2前		1							
		特別支援教育Ⅱ	2後		1							
		社会的養護Ⅰ	2前		2							1
		社会的養護Ⅱ	3前		1							1
		子育て支援	2後		1							1
		青年心理学	3後		2		1					
		小計(24科目)	-	0	35	0	6	4	0	0	0	7
	教育・保育実践科目	初等国語科内容論	1前		1		1					
		初等社会科内容論	1前		1		1					
		初等算数科内容論	1後		1		1					
		初等理科内容論	1前		1							
		初等生活科内容論	1後		1			1				
		初等音楽科内容論	1前		1		1					
		初等図画工作科内容論	1後		1		1					
		初等家庭科内容論	1前		1							1
		初等体育科内容論	1後		1							1
		初等英語科内容論	1後		1							1
		小計(10科目)	-	0	10	0	5	1	0	0	0	3
	教育・保育実践科目	初等国語科教育法	2後		2		1					
		初等社会科教育法	2後		2		1					
		初等算数科教育法	2前		2		1					
		初等理科教育法	2後		2							
		初等生活科教育法	2前		2		1					
		初等音楽科教育法	2後		2							
		初等図画工作科教育法	2前		2		1					
		初等家庭科教育法	2後		2							1
		初等体育科教育法	2前		2							1
		初等英語科教育法	2前		2							1
		小計(10科目)	-	0	20	0	5	1	0	0	0	3

科目 区分			授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 教育 科目														
	教 職 発 展 科 目	こ も の 支 援 発 展 科 目	個別教育計画概論	2前		2		1						
			個別教育計画作成演習	3後	1			1						
			小計(2科目)	－	1	2	0	1	0	0	0	0	0	
			学 校・ 地 域 教 育 活 動 発 展 科 目	ふれあい体験活動	1後		1		1					
	インターンシップⅠ	2通			1		4	2						
	インターンシップⅡ	3通			1		3	1	1					
	防災とコミュニティ	3前		2								1		
	子育て支援地域活動Ⅰ	2前後			1		1							
	子育て支援地域活動Ⅱ	3前後			1		1							
	小計(6科目)	－		2	5	0	7	4	1	0	0	1		
	教 職 発 展 科 目	I C T 活 用 科 目		学校教育におけるICT活用	1後	2							1	
				情報社会と情報モラル教育	1後		2		1					
				情報活用の実践Ⅰ	2前		2		3	2				1
			情報活用の実践Ⅱ	2後		2		1	2				2	
			(デジタル教科書の活用を含む)											
			教育データの利活用	3前		2		1					1	
			小計(5科目)	－	2	8	0	4	3	0	0	0	3	
			特 別 支 援 保 育 発 展 科 目	発達障害児への支援	3後		2			1				
				社会的スキルトレー ニングの理論と実践	4前		2							1
				スクールソーシャルワーク論	2前		2							1
	こども音楽療育論	3後			2		1							
	小計(4科目)	－		0	8	0	0	1	1	0	0	2		
	教 職 基 礎 科 目	教 職 基 礎 科 目	教育の思想と原理	1前	2								2	
			教育史	3後		2							1	
			教育哲学	2前		2							2	
			教職入門	1前	2			1						
			教育制度論	1後	2			1						
			教育社会学	2後		2							1	
			教育心理学	3前	2			1						
			発達心理学	1後		2		1						
			教育課程論	1後	2			1						
			学校組織マネジメント	3後		2							1	
	小計(10科目)	－	10	10	0	3	0	0	0	0	5			
	教 職・ 保 育 キ ャ リ ア 科 目	教 職 支 援 科 目	道徳教育論	2前		2		1						
			総合的な学習の理論と実践	2後		2		1	1					
			特別活動論	3前		2		2						
			教育方法・技術論	1後		2			1					
			教育におけるICT 活用の理論と方法	2前		2			1					
			生徒指導論	2後		2							1	
			教育相談	2後		2				1				
			小計(7科目)	－	0	14	0	2	2	1	0	0		

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 教育科目	教職・ 保育キ ャリア 科目	教職実 践科目	教職実践演習(小学校)	4後	2		1						
			保育・教職実践演習	4後	2			1					
			幼稚園教育実習	4通	4			1					
			小学校教育実習	3後	4			1					
			特別支援教育実習	4通	2		1	1	2				
			幼稚園教育実習リフレクション	4通	1			1					
			小学校教育実習リフレクション	3通	1			1					
			特別支援教育実習リフレクション	4通	1		1	1	2				
		小計(8科目)	—	0	17	0	2	3	2	0	0	0	
		保育実 習	保育実習指導Ⅰ(保育所)	2前	1			1					
			保育実習Ⅰ(保育所)	2前	2			1					
			保育実習指導Ⅰ(施設)	2後	1		1	1					
			保育実習Ⅰ(施設)	2後	2		1	1					
			保育実習指導Ⅱ	3前	1		1						
	保育実習Ⅱ		3前	2		1							
	保育実習指導Ⅲ		3前	1		1	1						
	保育実習Ⅲ		3前	2		1	1						
	小計(8科目)	—	0	12	0	1	2	0	0	0	0		
	特別 支援 教育 専門 科目	特別支援教育総論	1後	2		1	1	2					
		知的障害児の心理・生理・病理	2前	2				1				1	
		肢体不自由児の心理・生理・病理	2前	2				1				1	
		病弱児の心理・生理・病理	2後	2				1				1	
		知的障害児の教育課程と指導法	3前	2				1					
		肢体不自由児の教育課程と指導法	3後	2		1		1					
		病弱児の教育課程と指導法	3後	2								1	
		知的障害教育総論	2後	2				1					
		肢体不自由教育総論	2後	2		1							
		病弱教育総論	3後	2								1	
		視覚障害教育総論	4前	2								1	
		聴覚障害教育総論	4前	2			1						
		重複・発達障害教育総論	3前	2		1	1	2					
		心理検査法	3前	2			1	1					
		小計(14科目)	—	0	28	0	1	1	2	0	0	4	
合計(176科目)			—	43	266	0	10	8	2	0	0	62	
卒業要件及び履修方法													
『共通教育科目』から20単位以上、『専門教育科目』から92単位以上(「ゼミナール科目」から16単位、「教育・保育実践科目」から20単位以上、「教職発展科目」から5単位以上、「教職・保育キャリア科目」から20単位以上を含む)及び『共通教育科目』『専門教育科目』のいずれかから124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間)(半期24単位))													

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 教育科目	教職・ 保育キ ャリア 科目	教職実 践科目	教職実践演習	4後		2		1					
			保育・教職実践演習	4後		2		1					
			幼稚園教育実習	4通		4		1					
			小学校教育実習	3後		4		1					
			中学校教育実習	4通	4	4	2	1					
			高等学校教育実習	4通	2	2	2	1					
			特別支援教育実習	4通	2	1	2	1					
			幼稚園教育実習リフレクション	4通	1		1						
			小学校教育実習リフレクション	3通	1		1						
			中学校・高等学校教育実習リフレクション	4通	1		2	1					
			特別支援教育実習リフレクション	4通	1		1	2	1				
		小計(11科目)	—	0	24	0	4	5	1	0	0	0	
		保育実 習	保育実習指導Ⅰ(保育所)	2前		1		1					
			保育実習Ⅰ(保育所)	2前		2		1					
	保育実習指導Ⅰ(施設)		2後		1		1	1					
	保育実習Ⅰ(施設)		2後		2		1	1					
	保育実習指導Ⅱ		3前		1		1						
	保育実習Ⅱ		3前		2		1						
	保育実習指導Ⅲ		3前		1		1	1					
	保育実習Ⅲ		3前		2		1	1					
	小計(8科目)		—	0	12	0	1	2	0	0	0	0	
	特別 支援 教育 専門 科目		特別支援教育総論	1後		2		1	2	1			
		知的障害児の心理・生理・病理	2前		2			1				1	
		肢体不自由児の心理・生理・病理	2前		2							2	
		病弱児の心理・生理・病理	2後		2							2	
		知的障害児の教育課程と指導法	3前		2		1		1				
		肢体不自由児の教育課程と指導法	3後		2		1		1				
		病弱児の教育課程と指導法	3後		2							1	
		知的障害教育総論	2後		2		1		1				
		肢体不自由教育総論	2後		2		1						
		病弱教育総論	3後		2							1	
		視覚障害教育総論	4前		2							1	
		聴覚障害教育総論	4前		2			1					
		重複・発達障害教育総論	3前		2		1	1	1				
		心理検査法	3前		2			1					
		小計(14科目)	—	0	28	0	1	2	1	0	0	6	
合計(206科目)			—	43	320	0	13	8	1	0	0	61	
卒業要件及び履修方法													
『共通教育科目』から20単位以上、『専門教育科目』から92単位以上(「ゼミナール科目」から16単位、「教育・保育実践科目」から20単位以上、「教職発展科目」から5単位以上、「教職・保育キャリア科目」から20単位以上を含む)及び『共通教育科目』『専門教育科目』のいずれかから124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間)(半期24単位))													

【令和5年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共通教育科目	建学の精神	宗教と人生	1後	2								1	
		仏教と現代社会	1後	2								1	
		兵庫大学の学びと和	1後	2								2	
		地域と仏教	1前	1								2	
		兵大京都学	1後	1								2	
		小計(5科目)	－	2	6	0	0	0	0	0	0	4	
	コミュニケーション	日本語(読解と表現)	1前	2									1
		英語	1後	2									1
		実用英語Ⅰ	1後	2									1
		実用英語Ⅱ	2前	2									1
		中国語(初級)	1前	2									1
		中国語(中級)	1後	2									1
		韓国語(初級)	1前	2									1
		韓国語(中級)	1後	2									1
		コンピュータ演習	1前	2			1						1
		コンピュータグラフィックの基礎	1後	2									2
			小計(10科目)	－	6	14	0	0	1	0	0	0	8
	国際理解	国際理解と宗教Ⅰ (キリスト教)	1前	2									1
		国際理解と宗教Ⅱ (イスラム教)	1後	2									1
		国際関係論	1後	2									1
		比較文化論	1前	2									1
			小計(4科目)	－	0	8	0	0	0	0	0	0	4
	歴史と文化	歴史学	1前	2									1
		文学	1後	2									1
		色彩のデザイン	1前	2									1
			小計(3科目)	－	0	6	0	0	0	0	0	0	3
	地域に学ぶ	地域文化論	1後	2									1
		建築デザインと地域	1後	2									1
		地域と文化財	1前	2									1
		地域資料を読む	1後	2									1
		日本の伝統文化 「将棋」を学ぶ	1前	2									1
		ファシリテーション入門	1前	2									3
			小計(6科目)	－	0	12	0	0	0	0	0	0	5
	現代社会を読み解く	哲学	1前	2									1
		日本国憲法	1前	2									1
		人権の歴史	1前	2									1
		政治学	1前	2									1
		社会学	1前	2									1
		経済学	1前	2									1
			小計(6科目)	－	2	10	0	0	0	0	0	0	6
	自然と科学	生命倫理学	1前	2									1
		心理学	1前	2									1
		化学	1前	2									1
		生物学	1前	2									1
		身のまわりの科学	1前	2									2
		プログラミング入門	1後	2									1
		ICT・データ活用入門	1前	2									2
		数学基礎	1後	2									1
		AI・データサイエンス活用論	1後	2									1
			小計(9科目)	－	0	18	0	0	0	0	0	0	8
	くらしと健康	食と健康	1後	2									1
		健康・スポーツⅠ(講義)	1後	2									1
		健康・スポーツⅡ(実技)	1前	1									2
		健康・スポーツⅢ(実技)	1後	1									1
			小計(4科目)	－	2	4	0	0	0	0	0	0	4
	キャリアデザイン	わたしのためのキャリア設計	1前	2									1
		ヒューマンサービスとマネジメント	3後	2									3
		入門ボランティア	1通	2									3
			小計(3科目)	－	0	6	0	0	0	0	0	0	6

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担		
				必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専門 教育 科目	ゼミ ナール 科目	クラスゼミナールⅠ	1前	2			3	1	1					
		クラスゼミナールⅡ	1後	2		2	3							
		クラスゼミナールⅢ	2前	2		3	1	1						
		クラスゼミナールⅣ	2後	2		2	2							
		卒業研究Ⅰ	3前	2		10	7	2						
		卒業研究Ⅱ	3後	2		10	7	2						
		卒業研究Ⅲ	4前	2		10	7	2						
		卒業研究Ⅳ	4後	2		10	7	2						
		小計(8科目)	－	16	0	0	10	7	2	0	0	0		
	教育・保 育実 践科 目	幼 児 教 育・ 保 育 内 容 科 目	こどもと健康	1前		1							1	
			こどもと人間関係	1前		1			1					1
			こどもと環境	1後		1								1
			こどもと言葉	1前		1			1					1
			こどもと表現	1後		1		1	1					1
			こどもとサイエンス (こどもと科学遊び)	2後		1			1					1
			保育内容総論	2後		1								1
			保育内容「健康」の指導法	2後		2								1
			保育内容「人間関 係」の指導法	2後		2								2
			保育内容「環境」の指導法	2前		2								1
			保育内容「言葉」の指導法	2後		2			1					1
			保育内容「表現」の指導法	2前		2		1	1					1
			音楽Ⅰ	1前		1		1	1					1
			音楽Ⅱ	1後		1		1	1					1
			総合表現教育Ⅰ	1後		1		2						1
			総合表現教育Ⅱ	2前		1		2						1
			教師・保育者論	3前		2			1					1
			教育・保育の課程と評価	2前		2			1					1
			幼児理解	2後		1		1						1
			保育原理	1前		2			1					1
			こども家庭福祉	2前		2		1						1
			社会福祉	1前		2		2						1
			こども家庭支援論	2前		2								1
			こども家庭支援の心理学	3後		2								1
			こどもの保健	1後		2								1
			こどもの食と栄養Ⅰ	2前		1								1
			こどもの食と栄養Ⅱ	2後		1								1
			乳児保育Ⅰ	1前		2								1
			乳児保育Ⅱ	1後		1								1
			こどもの健康と安全	2後		1								1
			特別支援教育Ⅰ	2前		1			1					1
			特別支援教育Ⅱ	2後		1			1					1
			社会的養護Ⅰ	2前		2								1
		社会的養護Ⅱ	3前		1								1	
		子育て支援	2後		1								1	
		青年心理学	3後		2		1						1	
		小計(24科目)	－	0	35	0	5	4	0	0	0	0	9	
		小計(12科目)	－	0	17	0	1	4	0	0	0	0	5	
		初等 教科 内 容 科 目	初等 教科 内 容 科 目	初等国語科内容論	1前		1		1					
				初等社会科内容論	1前		1		1					
				初等算数科内容論	1後		1		1					
	初等理科内容論			1前		1			1					
	初等生活科内容論			1後		1		1						
	初等音楽科内容論			1前		1		1						
	初等図画工作科内容論			1後		1		1						
	初等家庭科内容論			1前		1							1	
	初等体育科内容論			1後		1							1	
	初等英語科内容論			1後		1							1	
	小計(10科目)			－	0	10	0	5	1	0	0	0	3	
	初等 教科 指 導 法 科 目		初等国語科教育法	2後		2		1						
			初等社会科教育法	2後		2		1						
			初等算数科教育法	2前		2		1						
			初等理科教育法	2後		2			1					
			初等生活科教育法	2前		2		1						
			初等音楽科教育法	2後		2		1						
			初等図画工作科教育法	2前		2		1						
			初等家庭科教育法	2後		2							1	
			初等体育科教育法	2前		2							1	
			初等英語科教育法	2前		2							1	
			小計(10科目)	－	0	20	0	5	1	0	0	0	3	
教 職 免 許 科	こどもと 環境 免 許 科	個別教育計画概論	2前		2		1							
		個別教育計画作成演習	3後	1			1							
		小計(2科目)	－	1	2	0	1	0	0	0	0	0		

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任 兼担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 教育科目	教職 発展科目	学校・地域 教育活動 発展科目	ふれあい体験活動	1後	1		1						
			インターンシップⅠ	2通	1		5	1					
			インターンシップⅡ	3通	1		3	1	1				
			防災とコミュニティ	3前	2							1	
			子育て支援地域活動Ⅰ	2前後	1			1					
			子育て支援地域活動Ⅱ	3前後	1			1					
		小計(6科目)	－	2	5	0	8	3	1	0	0	1	
		I C T 活用科目	学校教育におけるICT活用	1後	2								1
			情報社会と情報モラル教育	1後	2				1				
			情報活用の実践Ⅰ	2前	2			3	2				1
			情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む)	2後	2			2	1				2
			教育データの利活用	3前	2				1				1
	小計(5科目)		－	2	8	0	5	2	0	0	0	3	
	特別支援 保育 発展科目	発達障害児への支援	3後	2					1				
		社会的スキルトレーニングの理論と実践	4前	2								1	
		スクールソーシャルワーク論	2前	2								1	
		こども音楽療育論	3後	2				1					
		小計(4科目)	－	0	8	0	0	1	1	0	0	2	
		教職・ 保育 キャリア 科目	教職 基礎 科目	教育の思想と原理	1前	2							
	教育史			3後	2								1
	教育哲学			2前	2								2
	教職入門			1前	2			1					1
	教育制度論			1後	2			1					
	教育社会学			2後	2								1
	教育心理学			3前	2			1					
	発達心理学			1後	2			1					
	特別支援教育の基礎			3前	2				1				
	教育課程論			1後	2			1					
	学校組織マネジメント			3後	2								1
	小計(11科目)		－	10	12	0	3	1	0	0	0	6	
	教職 支援 科目		道徳教育論	2前	2			1					
			総合的な学習の理論と実践	2後	2			1	1				
			特別活動論	3前	2			2					
			教育方法・技術論	1後	2				1				1
			教育におけるICT 活用の理論と方法	2前	2				1				
			生徒指導・進路・キャリア 教育の理論及び方法	2後	2								1
			教育相談	2後	2					1			
			小計(7科目)	－	0	14	0	2	2	1	0	0	2
	教職 実践 科目		教職実践演習(小学校)	4後	2			1					
			保育・教職実践演習	4後	2				1				
			幼稚園教育実習	4通	4				1				
			小学校教育実習	3後	4				1				
			特別支援教育実習	4通	2			1	1	2			
			幼稚園教育実習リフレ クション	4通	1				1				
			小学校教育実習リフレ クション	3通	1				1				
			特別支援教育実習リフレ クション	4通	1			1	1	2			
			小計(8科目)	－	0	17	0	2	3	2	0	0	0
	保育 実習		保育実習指導Ⅰ(保育所)	2前	1				1				
			保育実習Ⅰ(保育所)	2前	2				1				
			保育実習指導Ⅰ(施設)	2後	1			1	1				
		保育実習Ⅰ(施設)	2後	2			1	1					
		保育実習指導Ⅱ	3前	1				1					
		保育実習Ⅱ	3前	2				1					
		保育実習指導Ⅲ	3前	1			1	1					
		保育実習Ⅲ	3前	2			1	1					
		小計(8科目)	－	0	12	0	1	2	0	0	0	0	
	特別 支援 教育 専門 科目	特別支援教育総論	1後	2			1	1	2				
		知的障害児の心理・生理・病理	2前	2				1				1	
		肢体不自由児の心理・生理・病理	2前	2				1				1	
		病弱児の心理・生理・病理	2後	2				1				1	
		知的障害児の教育課程と指導法	3前	2				1					
		肢体不自由児の教育課程と指導法	3後	2			1	1					
		病弱児の教育課程と指導法	3後	2								1	
		知的障害教育総論	2後	2				1					
		肢体不自由教育総論	2後	2			1						
		病弱教育総論	3後	2								1	
		視覚障害教育総論	4前	2									
		聴覚障害教育総論	4前	2				1					
		重複・発達障害教育総論	3前	2			1	1	2				
		心理検査法	3前	2				1	1				
	小計(14科目)	－	0	28	0	1	1	2	0	0	4		
合計(179科目)			－	43	238	0	11	7	2	0	0	64	

卒業要件及び履修方法

『共通教育科目』から20単位以上、『専門教育科目』から92単位以上（「ゼミナール科目」から16単位、「教育・保育実践科目」から20単位以上、「教職発展科目」から5単位以上、「教職・保育キャリア科目」から20単位以上を含む）及び『共通教育科目』『専門教育科目』のいずれかから124単位以上を修得すること。
（履修科目の登録の上限：48単位（年間）（半期24単位））

- （注）
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は 太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。
（例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和6年度】（新）→【令和5年度】（新）→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】（旧）→【令和5年度】（旧）

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

＜共通教育科目＞

- ・Michel H. Fox兼任准教授の辞退の理由により、「英語」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「コンピュータ演習」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」「兼1」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「生命倫理学」の兼任教員を変更。
- ・教育課程の見直しの理由により、「現代社会の理解」を削除。
- ・教育課程充実の理由により、「ICT・データ活用入門」「数学基礎」「AI・データサイエンス活用論」を科目追加。

＜専門教育科目＞

- ・井上朋子准教授の教授昇任に伴い、以下の科目について変更。
 - 「クラスゼミナールⅢ」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授2」「講師1」から「教授3」「准教授1」「講師1」に変更。
 - 「卒業研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授9」「准教授8」「講師2」「講師2」から「教授10」「准教授7」「講師2」に変更。
 - 「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1」「教授1」に変更。
 - 「総合表現教育Ⅰ」「総合表現教育Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」に変更。
 - 「初等音楽科内容論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - 「初等音楽科教育法」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - 「インターシップⅠ」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授2」から「教授5」「准教授1」に変更。
 - 「情報活用の実践Ⅱ（デジタル教科書の活用を含む）」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授2」「兼2」から「教授2」「准教授1」「兼2」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「教育の思想と原理」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「教職入門」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「兼1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「教育方法・技術論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1」「兼1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「生徒指導論」の科目名称を「生徒指導・進路・キャリア教育の理論及び方法」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「特別支援教育の基礎」を科目追加。

【令和6年度】

＜共通教育機構＞

- ・担当教員辞退の理由により、「英語」「実用英語Ⅰ」「実用英語Ⅱ」の兼任教員を変更。
- ・教育内容充実の理由により、「英語」の専任教員等の配置を「兼2」から「准教授1」「兼1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「実用英語Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「日本国憲法」の兼任教員を変更。
- ・教育内容充実の理由により、「健康・スポーツⅠ（講義）」の科目名称を「健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「健康・スポーツⅡ（実技）」の科目名称を「健康・スポーツ科学Ⅱ（実技）」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「健康・スポーツⅢ（実技）」の科目名称を「健康・スポーツ科学Ⅲ（実技）」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「食と健康」の兼任教員を変更。
- ・教育内容充実の理由により、「健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）」の兼任教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「健康・スポーツ科学Ⅱ（実技）」の兼任教員を変更。
- ・教育課程充実の理由により、「ヒューマンサービスとマネジメント」の開講時期を「3後」から「4後」に変更。

＜専門教育科目＞

- ・担当教員配置の変更の理由により、「クラスゼミナールⅠ」の教員配置を「教授3」「准教授1」「講師1」から「教授3」「准教授2」に変更。
- ・担当教員配置の変更の理由により、「保育内容「表現」の指導法」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「兼1」から「教授2」「兼1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「こども家庭支援論」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「乳児保育Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「乳児保育Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「社会的養護Ⅱ」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「子育て支援」の兼任教員を変更。
- ・教育内容充実の理由により、「ふれあい体験活動」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「准教授2」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「情報活用の実践Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授2」「兼1」から「教授3」「准教授2」に変更。
- ・担当教員配置の変更の理由により、「情報活用の実践Ⅱ（デジタル教科書の活用を含む）」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」「兼2」から「教授3」「准教授1」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「教育哲学」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教育課程見直しの理由により、「総合的な学習の理論と実践」の配当時期を「2後」から「2前」に変更。
- ・教員配置見直しの理由により、「総合的な学習の理論と実践」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授1」「兼1」に変更。
- ・教員配置見直しの理由により、「特別活動論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・教員配置見直しの理由により、「教育相談」の専任教員等の配置を「講師1」から「兼1」に変更。
- ・教育内容見直しの理由により、「教職実践演習（小学校）」の科目名称を「教職実践演習」に変更。
- ・教員配置見直しの理由により、「肢体不自由児の心理・生理・病理」の専任教員等の配置を「講師1」「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教員配置見直しの理由により、「病弱児の心理・生理・病理」の専任教員等の配置を「講師1」「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「知的障害児の教育課程と指導法」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1」「講師1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「知的障害教育総論」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1」「講師1」に変更。

- ・教育内容充実の理由により、中学教諭一種免許状（英語）、高等学校教諭一種免許状（英語）のカリキュラムを追加。以下の科目を追加。
 - 「英語学概論」「英語音声学」「国際英語論」「英語文法論」「英語学演習」「英語学特論」「英語文学概論」「英語文学作品研究」「英語文学演習」「英語文学特論」「異文化コミュニケーション論」「異文化交流演習」「英語圏地域研究」「Academic ReadingⅠ」「Academic ReadingⅡ」「Academic WritingⅠ」「Academic WritingⅡ」「English Communication SkillsⅠ」「English Communication SkillsⅡ」「Academic Presentation」「英語科教育法Ⅰ」「英語科教育法Ⅱ」「英語科教育法Ⅲ」「英語科教育法Ⅳ」「中学校教育実習」「高等学校教育実習」「中学校・高等学校教育実習リフレクション」を追加。
- ・教育課程充実の理由により、「英語文学概論」「英語文学作品研究」「英語文学演習」「英語文学特論」の専任教員等の配置を「兼1」
 - ・教育課程充実の理由により、坂本芳男教授を採用。以下の科目について変更。
 - 「異文化コミュニケーション論」「異文化交流演習」「英語圏地域研究」「英語科教育法Ⅰ」「英語科教育法Ⅱ」「英語科教育法Ⅲ」「英語科教育法Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授1」
 - 「中学校教育実習」「高等学校教育実習」「中学校・高等学校教育実習リフレクション」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」

- ・教育課程充実の理由により、笹平康弘兼任教員が教授に就任。以下の科目について変更。
 - 「英語学概論」「英語音声学」「国際英語論」「英語文法論」「英語学演習」「英語学特論」の専任教員等の配置を「教授1」
 - 「中学校教育実習」「高等学校教育実習」「中学校・高等学校教育実習リフレクション」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」

- ・教育課程充実の理由により、Cuomo, Osaze Martin兼任教員が准教授に就任。以下の科目について変更。
 - 「Academic ReadingⅠ」「Academic ReadingⅡ」「Academic WritingⅠ」「Academic WritingⅡ」「English Communication SkillsⅠ」「English Communication SkillsⅡ」「Academic Presentation」の専任教員等の配置を「准教授1」
 - 「中学校教育実習」「高等学校教育実習」「中学校・高等学校教育実習リフレクション」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」

- ・立本千寿子准教授の教授昇任に伴い、以下の科目について変更。
 - 「クラスゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授3」から「教授3」「准教授2」に変更。
 - 「こどもと表現」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「兼1」から「教授2」「兼1」に変更。
 - 「音楽Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」に変更。
 - 「音楽Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」に変更。
 - 「こども音楽療育論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。

- ・ 藤野正和講師の准教授昇任に伴い、以下の科目について変更。
 - ・ 「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「卒業研究Ⅲ」「卒業研究Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授10」「准教授6」「講師2」から「教授10」「准教授7」「講師1」に変更。
 - ・ 「インターンシップⅡ」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授1」「講師1」から「教授3」「准教授1」に変更。
 - ・ 「特別支援教育実習」「特別支援教育実習リフレクション」「特別支援教育総論」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師2」から「教授1」「准教授2」「講師1」に変更。
 - ・ 「知的障害児の心理・生理・病理」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
 - ・ 「重複・発達障害教育総論」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師2」から「教授1」「准教授1」「講師1」に変更。
 - ・ 「心理検査法」の専任教員等の配置を「准教授1」「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・ 教育内容充実の理由により、高畑芳美教授を採用。以下の科目について変更。
 - ・ 「こどもと環境」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
 - ・ 「保育内容「人間関係」の指導法」の専任教員等の配置を「兼2」から「教授1」へ変更。
 - ・ 「保育内容「環境」の指導法」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」へ変更。
- ・ 古田薫教授退職に伴い、以下の科目について変更。
 - ・ 「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「卒業研究Ⅲ」「卒業研究Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授9」「准教授8」「講師2」から「教授10」「准教授7」「講師1」に変更。
 - ・ 「インターンシップⅠ」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授1」「講師1」から「教授3」「准教授1」に変更。
 - ・ 「教職入門」の専任教員等の配置を「教授1」「兼1」から「教授2」「准教授2」「講師1」「兼1」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
22 科目	154 科目	0 科目	176 科目	22 科目 [-]	184 科目 [30]	0 科目 [-]	206 科目 [30]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1 科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	現代社会の理解	2	1・前	一般	選択	共通教育科目のカリキュラム改正に伴う廃止 代替措置無
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」
「現代社会の理解」は同類の教授内容である授業科目の精査に伴い廃止した。現代社会との関わり方を、市民活動・貧困問題・労働問題・政治参加・教育問題から考察する科目として、「日本国憲法」「人権の歴史」「政治学」「社会学」「経済学」の科目を配置しているため、学生の履修等への影響はない。

「学生への周知方法」
学生に対しては、学期開始時期に実施するオリエンテーション期間内において説明を行った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{1}{176} = \boxed{0.56} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	兵庫大学全体 兵庫大学短期大学部と 共用		
	校 舎 敷 地	0 m ²	72,973 m ²	0 m ²	72,973 m ²			
	運動場用地	0 m ²	9,600 m ²	0 m ²	9,600 m ²			
	小 計	0 m ²	82,573 m ²	0 m ²	82,573 m ²			
	そ の 他	0 m ²	10,706 m ²	0 m ²	10,706 m ²			
	合 計	0 m ²	93,279 m ²	0 m ²	93,279 m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	兵庫大学全体 兵庫大学短期大学部と 共用			
	132.00 m ² (132.00m ²)	29,154.11 m ² (29,242.01m ²)	1,773.35 m ² (1,773.35m ²)	31,059.46 m ² (31,059.46m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	兵庫大学全体 兵庫大学短期大学部と 共用		
	29 室	28 室	34 室	4 室 (補助職員 3人)	1 室 (補助職員 1 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		教員採用のため(6)		
	教育学部 教育学科			22 20 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能の ため、大学全体の数 図書等充実、データベ ースへの切り替えのため (5) 図書充実のため(6)
	大学全体	57,367 [7,197] 56,734 [7,105] 54,864 [6,910]	1,720 [215] 1,716 [215] 1,699 [236]	0 [0] 3 [1]	6,019 6,005	5,902	58	
		57,367 [7,197] 56,734 [7,105] 54,864 [6,910]	1,720 [255] 1,716 [215] 1,699 [236]	0 [0] 3 [1]	6,019 6,005	(5,902)	(58)	
	計	57,367 [7,197] 56,734 [7,105] 54,864 [6,910]	1,720 [215] 1,716 [215] 1,699 [236]	0 [0] 3 [1]	6,019 6,005	5,902	58	
		57,367 [7,197] 56,734 [7,105] 54,864 [6,910]	1,720 [215] 1,716 [215] 1,699 [236]	0 [0] 3 [1]	6,019 6,005	(5,902)	(58)	
	(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
1,829 m ²		270		151,200				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	2,286 m ²		テ ニ ス コ ー ト 4 面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	480千円	480千円	図書購入費	1,100千円	1,000千円	1,000千円
	学生 1 人当り 納付金	共 同 研 究 費 等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	2,500千円	2,500千円	2,500千円
		第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
	学生納付金以外の維持方法の概要	1,290千円	1,140千円	1,140千円	1,140千円	- 千円	- 千円	
		私立大学等経常費補助金、入学検定料、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称		兵 庫 大 学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率 (控除後)	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考				
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		兵庫県加古川市平岡町新在家2301 令和4年度入学生より入学定員変更（100→120）				
<u>現代ビジネス学部</u>	4	120	3年次2人	464	－	0.87	－	－	平成28						
<u>現代ビジネス学科</u>	4	120	3年次2人	464	学士 (現代ビジネス)	0.87	－	令和4	平成28	同上					
健康科学部	4	120	3年次5人	490	－	0.64	－	－	平成13	同上					
栄養マネジメント学科	4	80	3年次5人	330	学士 (栄養学)	0.59	－	－	平成13	同上					
健康システム学科	4	40	0	160	学士 (健康科学)	0.74	－	－	平成13	同上					
<u>教育学部</u>	4	100	3年次5人	200	－	0.67	－	－	令和5	同上					
<u>教育学科</u>	4	100	3年次5人	200	学士 (教育学)	0.67	－	－	令和5	同上					
看護学部	4	90	0	360	－	1.05	－	－	平成29	同上					
看護学科	4	90	0	360	学士 (看護学)	1.05	－	－	平成29	同上					
<u>生涯福祉学部</u>	4	40	3年次10人	280	－	0.89	－	－	平成18	同上	令和5年度から3年次編入学定員変更（0→5）				
<u>社会福祉学科</u>	4	40	3年次5人	170	学士 (社会福祉学)	0.92	－	令和5	平成18	同上					
こども福祉学科	4	50	3年次5人	110	学士 (こども福祉)	0.86	－	－	平成25	同上					
大学全体	4	470	3年次17人	1794	－	0.82	－	－	－	－	令和4年度学生募集停止				

大 学 の 名 称	兵 庫 大 学 短 期 大 学 部										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
保育科第一部	2	80	—	160	短期大学士(保育)	0.56	—	—	昭和32	兵庫県加古川市平岡町新在家2301	令和5年度入学生より入学定員変更（100→80）			
保育科第三部	3	80	—	240	短期大学士(保育)	0.99	—	—	昭和46	同上				
短大全体	2/3	80/80	—	400	—	0.82	—	—	—	—				

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「—」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<教育学部 教育学科>

(1) ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	關 浩和 (64) <令和5年4月> 博士(学校教育学)
		クラスゼミナールⅠ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 初等社会科内容論 初等生活科内容論 初等社会科教育法 初等生活科教育法 インターンシップⅠ 情報活用の実践Ⅰ 教育課程論
専	教授	松田 信樹 (49) <令和5年4月> 修士(教育学)※
		クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 幼児理解 青年心理学 個別教育計画概論 個別教育計画作成演習 インターンシップⅡ 教育心理学 発達心理学
専	教授	赤井 利行 (69) <令和5年4月> 修士(教育学)
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 初等算数科内容論 初等算数科教育法 インターンシップⅠ 情報活用の実践Ⅰ

【令和5年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	關 浩和 (64) <令和5年4月> 博士(学校教育学)
		クラスゼミナールⅠ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 初等社会科内容論 初等生活科内容論 初等社会科教育法 初等生活科教育法 インターンシップⅠ 情報活用の実践Ⅰ 教育課程論
専	教授	松田 信樹 (49) <令和5年4月> 修士(教育学)※
		クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 幼児理解 青年心理学 個別教育計画概論 個別教育計画作成演習 インターンシップⅡ 教育心理学 発達心理学
専	教授	赤井 利行 (69) <令和5年4月> 修士(教育学)
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 初等算数科内容論 初等算数科教育法 インターンシップⅠ 情報活用の実践Ⅰ

【令和6年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	關 浩和 (65) <令和6年4月> 博士(学校教育学)
		クラスゼミナールⅠ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 初等社会科内容論 初等生活科内容論 初等社会科教育法 初等生活科教育法 インターンシップⅠ 情報活用の実践Ⅰ 情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む) 教育課程論
専	教授	松田 信樹 (50) <令和6年4月> 修士(教育学)※
		クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 幼児理解 青年心理学 個別教育計画概論 個別教育計画作成演習 インターンシップⅡ 教育心理学 発達心理学
専	教授	赤井 利行 (70) <令和6年4月> 修士(教育学)
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 初等算数科内容論 初等算数科教育法 インターンシップⅠ 情報活用の実践Ⅰ 教職入門

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大江 実代子 (61) ＜令和5年4月＞ 修士（学校教育学）
		クラスゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 初等国語科内容論 初等国語科教育法 ふれあい体験活動 インターンシップⅠ 情報活用の実践Ⅰ 特別活動論 教職実践演習（小学校）
専	教授	橋本 正巳 (70) ＜令和5年4月＞ 学士（教育学）
		クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 特別支援教育実習 特別支援教育実習リフレクション 特別支援教育総論 肢体不自由児の教育課程と指導法 肢体不自由教育総論 重複・発達障害教育総論
専	教授	河野 真 (61) ＜令和5年4月＞ Ph. D.（英国）
		社会福祉
専	教授	林 敦司 (61) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）
		クラスゼミナールⅠ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ インターンシップⅠ 道徳教育論 総合的な学習の理論と実践 特別活動論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大江 実代子 (61) ＜令和5年4月＞ 修士（学校教育学）
		クラスゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 初等国語科内容論 初等国語科教育法 ふれあい体験活動 インターンシップⅠ 情報活用の実践Ⅰ 特別活動論 教職実践演習（小学校）
専	教授	橋本 正巳 (70) ＜令和5年4月＞ 学士（教育学）
		クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 特別支援教育実習 特別支援教育実習リフレクション 特別支援教育総論 肢体不自由児の教育課程と指導法 肢体不自由教育総論 重複・発達障害教育総論
専	教授	河野 真 (61) ＜令和5年4月＞ Ph. D.（英国）
		社会福祉
専	教授	林 敦司 (61) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）
		クラスゼミナールⅠ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ インターンシップⅠ 道徳教育論 総合的な学習の理論と実践 特別活動論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大江 実代子 (62) ＜令和6年4月＞ 修士（学校教育学）
		クラスゼミナールⅠ クラスゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 初等国語科内容論 初等国語科教育法 ふれあい体験活動 インターンシップⅠ 情報活用の実践Ⅰ
専	教授	橋本 正巳 (71) ＜令和6年4月＞ 学士（教育学）
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 特別支援教育実習 特別支援教育実習リフレクション 特別支援教育総論 知的障害児の教育課程と指導法 肢体不自由児の教育課程と指導法 知的障害教育総論 肢体不自由教育総論 重複・発達障害教育総論
専	教授	河野 真 (62) ＜令和6年4月＞ Ph. D.（英国）
		社会福祉
専	教授	林 敦司 (62) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ インターンシップⅠ 教職入門 道徳教育論 総合的な学習の理論と実践 特別活動論 教職実践演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	半田 結 (61) ＜令和5年4月＞ 修士（芸術学）※
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こどもと表現 保育内容「表現」の指導法 総合表現教育Ⅰ 総合表現教育Ⅱ 初等図画工作科内容論 初等図画工作科教育法 インターンシップⅡ 情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む)
専	教授	古田 薫 (61) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※
		クラスゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ インターンシップⅡ 教職入門 教育制度論
専	教授	田邊 哲雄 (55) ＜令和5年4月＞ 修士（臨床教育学）
		クラスゼミナールⅠ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こども家庭福祉 社会福祉 保育実習指導Ⅰ（施設） 保育実習Ⅰ（施設） 保育実習指導Ⅲ 保育実習Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	半田 結 (61) ＜令和5年4月＞ 修士（芸術学）※
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こどもと表現 保育内容「表現」の指導法 総合表現教育Ⅰ 総合表現教育Ⅱ 初等図画工作科内容論 初等図画工作科教育法 インターンシップⅡ 情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む)
専	教授	古田 薫 (61) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※
		クラスゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ インターンシップⅡ 教職入門 教育制度論
専	教授	田邊 哲雄 (55) ＜令和5年4月＞ 修士（臨床教育学）
		クラスゼミナールⅠ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こども家庭福祉 社会福祉 保育実習指導Ⅰ（施設） 保育実習Ⅰ（施設） 保育実習指導Ⅲ 保育実習Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	半田 結 (62) ＜令和6年4月＞ 修士（芸術学）※
		クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こどもと表現 保育内容「表現」の指導法 総合表現教育Ⅰ 総合表現教育Ⅱ 初等図画工作科内容論 初等図画工作科教育法 インターンシップⅡ 情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む)
専	教授	田邊 哲雄 (56) ＜令和6年4月＞ 修士（臨床教育学）
		クラスゼミナールⅠ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こども家庭福祉 社会福祉 こども家庭支援論 保育実習指導Ⅰ（施設） 保育実習Ⅰ（施設） 保育実習指導Ⅲ 保育実習Ⅲ
専	教授	笹平 康弘 (66) ＜令和6年4月＞ 博士（言語学）
		英語学概論 英語音声学 国際英語論 英語文法論 英語学演習 英語学特論 中学校教育実習 高等学校教育実習 中学校・高等学校教育実習リフレクション

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	安部 洋一郎 (41) ＜令和5年4月＞ 博士（学校教育学）
		クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こどもとサイエンス (こどもと科学遊び) 初等理科内容論 初等理科教育法 情報活用の実践Ⅰ 総合的な学習の理論と実践 小学校教育実習 小学校教育実習リフレクション
専	准教授	石川 恵美 (54) ＜令和5年4月＞ 修士（学校教育学）
		クラスゼミナールⅠ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こどもと言葉 保育内容「言葉」の指導法 保育実習指導Ⅰ（施設） 保育実習Ⅰ（施設） 保育実習指導Ⅲ 保育実習Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	安部 洋一郎 (41) ＜令和5年4月＞ 博士（学校教育学）
		クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こどもとサイエンス (こどもと科学遊び) 初等理科内容論 初等理科教育法 情報活用の実践Ⅰ 総合的な学習の理論と実践 小学校教育実習 小学校教育実習リフレクション
専	准教授	石川 恵美 (54) ＜令和5年4月＞ 修士（学校教育学）
		クラスゼミナールⅠ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こどもと言葉 保育内容「言葉」の指導法 保育実習指導Ⅰ（施設） 保育実習Ⅰ（施設） 保育実習指導Ⅲ 保育実習Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高畑 芳美 (65) ＜令和6年4月＞ 博士（学校教育学）
		クラスゼミナールⅣ こどもと環境 保育内容「人間関係」の指導法 保育内容「環境」の指導法
専	教授	保坂 芳男 (63) ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		実用英語Ⅰ 異文化コミュニケーション論 異文化交流演習 英語圏地域研究 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅳ 中学校教育実習 高等学校教育実習 中学校・高等学校教育実習リフレクション
専	准教授	安部 洋一郎 (42) ＜令和6年4月＞ 博士（学校教育学）
		クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こどもとサイエンス (こどもと科学遊び) 初等理科内容論 初等理科教育法 情報活用の実践Ⅰ 教職入門 小学校教育実習 小学校教育実習リフレクション
専	准教授	石川 恵美 (55) ＜令和6年4月＞ 修士（学校教育学）
		クラスゼミナールⅠ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こどもと言葉 保育内容「言葉」の指導法 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ ふれあい体験活動 保育実習指導Ⅰ（施設） 保育実習Ⅰ（施設） 保育実習指導Ⅲ 保育実習Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	磯野 久美子 (57) ＜令和5年4月＞ 修士（学校教育学）
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こどもと人間関係 教師・保育者論 保育・教職実践演習 幼稚園教育実習 幼稚園教育実習リフレクション
専	准教授	井上 朋子 (40) ＜令和5年4月＞ 博士（学校教育学）
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 総合表現教育Ⅰ 総合表現教育Ⅱ 初等音楽家内容論 初等音楽家教育法 インターンシップⅠ 情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む)
専	准教授	河野 稔 (52) ＜令和5年4月＞ 修士（理学）
		クラスゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ インターンシップⅠ 情報社会と情報モラル教育 情報活用の実践Ⅰ 情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む) 教育データの利活用 教育方法・技術論 教育におけるICT活用の理論と方法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	磯野 久美子 (57) ＜令和5年4月＞ 修士（学校教育学）
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こどもと人間関係 教師・保育者論 保育・教職実践演習 幼稚園教育実習 幼稚園教育実習リフレクション
専	教授	井上 朋子 (40) ＜令和5年4月＞ 博士（学校教育学）
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 総合表現教育Ⅰ 総合表現教育Ⅱ 初等音楽家内容論 初等音楽家教育法 インターンシップⅠ 情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む)
専	准教授	河野 稔 (52) ＜令和5年4月＞ 修士（理学）
		コンピュータ演習 クラスゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ インターンシップⅠ 情報社会と情報モラル教育 情報活用の実践Ⅰ 情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む) 教育データの利活用 教育方法・技術論 教育におけるICT活用の理論と方法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	磯野 久美子 (58) ＜令和6年4月＞ 修士（学校教育学）
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こどもと人間関係 教師・保育者論 ふれあい体験活動 保育・教職実践演習 幼稚園教育実習 幼稚園教育実習リフレクション
専	教授	井上 朋子 (41) ＜令和6年4月＞ 博士（学校教育学）
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 保育内容「表現」の指導法 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 総合表現教育Ⅰ 総合表現教育Ⅱ 初等音楽家内容論 初等音楽家教育法 インターンシップⅠ 情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む)
専	准教授	河野 稔 (53) ＜令和6年4月＞ 修士（理学）
		コンピュータ演習 クラスゼミナールⅠ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ インターンシップⅠ 情報社会と情報モラル教育 情報活用の実践Ⅰ 情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む) 教育データの利活用 教育方法・技術論 教育におけるICT活用の理論と方法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	澤田 真弓 (53) ＜令和5年4月＞ 修士（学校教育学）※
		クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 教育・保育の課程と評価 保育原理 子育て支援地域活動Ⅰ 子育て支援地域活動Ⅱ 保育実習指導Ⅰ（保育所） 保育実習Ⅰ（保育所） 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ
専	准教授	杉田 律子 (52) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※
		クラスゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 特別支援教育Ⅰ 特別支援教育Ⅱ 特別支援教育実習 特別支援教育実習リフレクション 特別支援教育総論 聴覚障害教育総論 重複・発達障害教育総論 心理検査法
専	准教授	立本 千寿子 (45) ＜令和5年4月＞ 修士（学校教育学）
		クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こどもと表現 保育内容「表現」の指導法 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ インターンシップⅡ こども音楽療育論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	澤田 真弓 (53) ＜令和5年4月＞ 修士（学校教育学）※
		クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 教育・保育の課程と評価 保育原理 子育て支援地域活動Ⅰ 子育て支援地域活動Ⅱ 保育実習指導Ⅰ（保育所） 保育実習Ⅰ（保育所） 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ
専	准教授	杉田 律子 (52) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※
		クラスゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 特別支援教育Ⅰ 特別支援教育Ⅱ 特別支援教育の基礎 特別支援教育実習 特別支援教育実習リフレクション 特別支援教育総論 聴覚障害教育総論 重複・発達障害教育総論 心理検査法
専	准教授	立本 千寿子 (45) ＜令和5年4月＞ 博士（学校教育学）
		クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こどもと表現 保育内容「表現」の指導法 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ インターンシップⅡ こども音楽療育論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	澤田 真弓 (54) ＜令和6年4月＞ 修士（学校教育学）※
		クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 教育・保育の課程と評価 保育原理 子育て支援地域活動Ⅰ 子育て支援地域活動Ⅱ 保育実習指導Ⅰ（保育所） 保育実習Ⅰ（保育所） 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ
専	准教授	杉田 律子 (53) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		クラスゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 特別支援教育Ⅰ 特別支援教育Ⅱ 特別支援教育の基礎 特別支援教育実習 特別支援教育実習リフレクション 特別支援教育総論 聴覚障害教育総論
専	教授	立本 千寿子 (46) ＜令和6年4月＞ 博士（学校教育学）
		クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ こどもと表現 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ インターンシップⅡ こども音楽療育論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	平田 真二 (61) ＜令和5年4月＞ 修士（学校教育学）
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 発達障害児への支援 特別支援教育実習 特別支援教育実習リフレクション 特別支援教育総論 知的障害児の教育課程と指導法 肢体不自由児の教育課程と指導法 知的障害教育総論 重複・発達障害教育総論
専	講師	藤野 正和 (37) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※
		クラスゼミナールⅠ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ インターンシップⅡ 教育相談 特別支援教育実習 特別支援教育実習リフレクション 特別支援教育総論 知的障害児の心理・生理・病理 肢体不自由児の心理・生理・病理 病弱児の心理・生理・病理 重複・発達障害教育総論 心理検査法
兼任	教授	石原 敬子 (57) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）
		経済学
兼任	教授	伊藤 秀樹 (59) ＜令和5年4月＞ 修士（福祉マネジメント）
		スクールソーシャルワーク論
兼任	教授	稲富 恭 (58) ＜令和5年4月＞ 工学修士
		コンピュータグラフィックスの基礎 色彩とデザイン 建築デザインと地域 入門ボランティア

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	平田 真二 (61) ＜令和5年4月＞ 修士（学校教育学）
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 発達障害児への支援 特別支援教育実習 特別支援教育実習リフレクション 特別支援教育総論 知的障害児の教育課程と指導法 肢体不自由児の教育課程と指導法 知的障害教育総論 重複・発達障害教育総論
専	講師	藤野 正和 (37) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※
		クラスゼミナールⅠ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ インターンシップⅡ 教育相談 特別支援教育実習 特別支援教育実習リフレクション 特別支援教育総論 知的障害児の心理・生理・病理 肢体不自由児の心理・生理・病理 病弱児の心理・生理・病理 重複・発達障害教育総論 心理検査法
兼任	教授	石原 敬子 (57) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）
		経済学
兼任	教授	伊藤 秀樹 (59) ＜令和5年4月＞ 修士（福祉マネジメント）
		スクールソーシャルワーク論
兼任	教授	稲富 恭 (58) ＜令和5年4月＞ 工学修士
		コンピュータグラフィックスの基礎 色彩とデザイン 建築デザインと地域 入門ボランティア

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	平田 真二 (62) ＜令和6年4月＞ 修士（学校教育学）
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 発達障害児への支援 教職入門 特別支援教育実習 特別支援教育実習リフレクション 特別支援教育総論 知的障害児の教育課程と指導法 肢体不自由児の教育課程と指導法 知的障害教育総論 重複・発達障害教育総論
専	准教授	藤野 正和 (38) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		クラスゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ インターンシップⅡ 教職入門 特別支援教育実習 特別支援教育実習リフレクション 特別支援教育総論 重複・発達障害教育総論 心理検査法
兼任	教授	石原 敬子 (58) ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		経済学
兼任	教授	伊藤 秀樹 (60) ＜令和6年4月＞ 修士（福祉マネジメント）
		スクールソーシャルワーク論
兼任	教授	稲富 恭 (59) ＜令和6年4月＞ 工学修士
		コンピュータグラフィックスの基礎 色彩とデザイン 建築デザインと地域 入門ボランティア

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	北島 律之 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（芸術工学）
		兵庫大学の学びと和 ファシリテーション入門 心理学
兼任	教授	金子 哲 (61) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※
		地域と仏教 歴史学 地域文化論 地域と文化財 地域資料を読む 日本の伝統文化「将棋」を学ぶ 現代社会の理解 ヒューマンサービスとマネジメント 入門ボランティア
兼任	教授	佐藤 隆 (57) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）
		生物学
兼任	教授	高野 敦子 (63) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		コンピュータ演習 教育データの利活用
兼任	教授	田端 和彦 (58) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		ファシリテーション入門
兼任	教授	吉原 恵子 (66) ＜令和6年4月＞ 修士（教育社会学）※
		社会学 教育社会学
兼任	准教授	大植 崇 (46) ＜令和5年4月＞ 博士（看護学）
		ヒューマンサービスとマネジメント
兼任	准教授	岡本 洋之 (62) ＜令和5年4月＞ 文学修士※
		教育史

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	北島 律之 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（芸術工学）
		兵庫大学の学びと和 ファシリテーション入門 心理学
兼任	教授	金子 哲 (61) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※
		地域と仏教 歴史学 地域文化論 地域と文化財 地域資料を読む 日本の伝統文化「将棋」を学ぶ ヒューマンサービスとマネジメント 入門ボランティア
兼任	教授	佐藤 隆 (57) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）
		生物学
兼任	教授	高野 敦子 (63) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		コンピュータ演習 教育データの利活用
兼任	教授	田端 和彦 (58) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		ファシリテーション入門
兼任	教授	宮崎 光世 (51) ＜令和5年4月＞ 理学学士
		ICT・データ活用入門 AI・データサイエンス活用論
兼任	教授	吉原 恵子 (66) ＜令和5年4月＞ 修士（教育社会学）※
		社会学 教育社会学
兼任	准教授	大植 崇 (46) ＜令和5年4月＞ 博士（看護学）
		ヒューマンサービスとマネジメント
兼任	准教授	岡本 洋之 (62) ＜令和5年4月＞ 文学修士※
		教育史

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	北島 律之 (55) ＜令和6年4月＞ 博士（芸術工学）
		兵庫大学の学びと和 ファシリテーション入門 心理学
兼任	教授	金子 哲 (62) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		地域と仏教 歴史学 地域文化論 地域と文化財 地域資料を読む 日本の伝統文化「将棋」を学ぶ ヒューマンサービスとマネジメント 入門ボランティア
兼任	教授	佐藤 隆 (58) ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		生物学
兼任	教授	高野 敦子 (64) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		コンピュータ演習 教育データの利活用
兼任	教授	田端 和彦 (59) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		ファシリテーション入門
兼任	教授	宮崎 光世 (52) ＜令和6年4月＞ 理学学士
		ICT・データ活用入門 AI・データサイエンス活用論
兼任	教授	吉原 恵子 (67) ＜令和6年4月＞ 修士（教育社会学）※
		社会学 教育社会学
兼任	准教授	大植 崇 (47) ＜令和6年4月＞ 博士（看護学）
		ヒューマンサービスとマネジメント
兼任	准教授	岡本 洋之 (63) ＜令和6年4月＞ 文学修士※
		教育史

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	小倉 毅 (50) ＜令和5年4月＞ 修士（社会福祉学）
		ヒューマンサービスとマネジメント
兼任	准教授	斎藤 正寿 (61) ＜令和5年4月＞ 文学修士※
		国際関係論 ファシリテーション入門 政治学
兼任	准教授	樽本 つぐみ (54) ＜令和5年4月＞ 修士（人間科学）
		健康・スポーツ科学Ⅱ（実技） 健康・スポーツ科学Ⅲ（実技）
兼任	准教授	原 志津 (58) ＜令和5年4月＞ 学術修士（臨床心理学）※
		社会的スキルトレーニングの理 論と実践
兼任	准教授	穂積 隆広 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		身のまわりの科学 プログラミング入門 情報活用の実践Ⅰ 情報活用の実践Ⅱ （デジタル教科書の活用を含む）
兼任	准教授	本多 彩 (45) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※
		宗教と人生 仏教と現代社会 兵庫大学の学びと和 兵大京都学 比較文化論
兼任	准教授	湯瀬 晶文 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（情報科学）
		地域と仏教 兵大京都学 身のまわりの科学 入門ボランティア
兼任	准教授	Micheal H. Fox (66) ＜令和5年4月＞ Master of Arts（米国）
		英語 実用英語Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小倉 毅 (50) ＜令和5年4月＞ 修士（社会福祉学）
		ヒューマンサービスとマネジメント
兼任	教授	斎藤 正寿 (61) ＜令和5年4月＞ 文学修士※
		国際関係論 ファシリテーション入門 政治学
兼任	准教授	樽本 つぐみ (54) ＜令和5年4月＞ 修士（人間科学）
		健康・スポーツ科学Ⅱ（実技） 健康・スポーツ科学Ⅲ（実技）
兼任	准教授	原 志津 (58) ＜令和5年4月＞ 学術修士（臨床心理学）※
		社会的スキルトレーニングの理 論と実践
兼任	教授	穂積 隆広 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		身のまわりの科学 プログラミング入門 ICT・データ活用入門 情報活用の実践Ⅰ 情報活用の実践Ⅱ （デジタル教科書の活用を含む）
兼任	教授	本多 彩 (45) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※
		宗教と人生 仏教と現代社会 兵庫大学の学びと和 兵大京都学 比較文化論
兼任	准教授	湯瀬 晶文 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（情報科学）
		地域と仏教 兵大京都学 身のまわりの科学 入門ボランティア

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小倉 毅 (51) ＜令和6年4月＞ 修士（社会福祉学）
		ヒューマンサービスとマネジメント
兼任	教授	斎藤 正寿 (62) ＜令和6年4月＞ 文学修士※
		国際関係論 ファシリテーション入門 政治学
兼任	教授	樽本 つぐみ (55) ＜令和6年4月＞ 修士（人間科学）
		健康・スポーツ科学Ⅱ 健康・スポーツ科学Ⅲ
兼任	准教授	原 志津 (59) ＜令和6年4月＞ 学術修士（臨床心理学）※
		社会的スキルトレーニングの理 論と実践
兼任	教授	穂積 隆広 (54) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		身のまわりの科学 プログラミング入門 ICT・データ活用入門
兼任	教授	本多 彩 (46) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		宗教と人生 仏教と現代社会 兵庫大学の学びと和 兵大京都学 比較文化論
兼任	准教授	湯瀬 晶文 (54) ＜令和6年4月＞ 博士（情報科学）
		地域と仏教 兵大京都学 身のまわりの科学 入門ボランティア

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	森下 博 (52) ＜令和5年4月＞ 修士（理学）
		学校教育におけるICT活用
兼任	准教授	矢野 琢也 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（体育学）
		健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）
兼任	講師	Cuomo, Osaze Martin (41) ＜令和5年4月＞ 修士（国際関係学）
		英語
兼任	講師	山崎 一諒 (40) ＜令和5年4月＞ 博士（農学）
		食と健康
兼任	教授	三宅 一郎 (66) ＜令和5年4月＞ 体育学修士
		健康・スポーツ科学Ⅱ（実技）
兼任	准教授	日坂 歩都恵 (60) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※
		こどもと健康 保育内容総論 保育内容「健康」の指導法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	森下 博 (52) ＜令和5年4月＞ 修士（理学）
		学校教育におけるICT活用
兼任	准教授	矢野 琢也 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（体育学）
		健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）
兼任	准教授	Cuomo, Osaze Martin (41) ＜令和5年4月＞ 修士（国際関係学）
		英語 実用英語Ⅰ
兼任	教授	山崎 一諒 (40) ＜令和5年4月＞ 博士（農学）
		食と健康
兼任	教授	三宅 一郎 (66) ＜令和5年4月＞ 体育学修士
		健康・スポーツ科学Ⅱ（実技）
兼任	准教授	日坂 歩都恵 (60) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※
		こどもと健康 保育内容総論 保育内容「健康」の指導法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	森下 博 (53) ＜令和6年4月＞ 修士（理学）
		学校教育におけるICT活用
兼任	教授	矢野 琢也 (55) ＜令和6年4月＞ 博士（体育学）
		健康・スポーツ科学Ⅰ
専任	准教授	Cuomo, Osaze Martin (42) ＜令和6年4月＞ 修士（国際関係学）
		英語 Academic ReadingⅠ Academic ReadingⅡ Academic WritingⅠ Academic WritingⅡ English Communication SkillsⅠ English Communication SkillsⅡ Academic Presentation 中学校教育実習 高等学校教育実習 中学校・高等学校教育実習リフレクション
兼任	教授	長尾 憲樹 (74) ＜令和6年4月＞ 医学博士
		健康・スポーツ科学Ⅰ
兼任	講師	栗山 磯子 (43) ＜令和6年4月＞ 博士（栄養学）
		食と健康
兼任	准教授	日坂 歩都恵 (61) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		こどもと健康 保育内容総論 保育内容「健康」の指導法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	藤原 照美 (66) ＜令和5年4月＞ 修士（学校教育学）
		保育内容「人間関係」の指導法 保育内容「環境」の指導法
兼任	講師	山村 けい子 (63) ＜令和5年4月＞ 修士（学術）
		保育内容「人間関係」の指導法
兼任	准教授	佐竹 邦子 (53) ＜令和5年4月＞ 修士（理学）
		コンピュータグラフィックスの基礎
兼任	准教授	永井 夕起子 (39) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※
		こどもと表現 保育内容「表現」の指導法 総合表現教育Ⅰ 総合表現教育Ⅱ
兼任	講師	足立 法子 (44) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※
		子育て支援
兼任	准教授	野田 直恵 (61) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※
		日本語（読解と表現） 文学
兼任	准教授	三浦 摩美 (59) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※
		哲学
兼任	講師	相川 美和子 (64) ＜令和5年4月＞ 修士（学校教育学）
		初等家庭科内容論 初等家庭科教育法
兼任	講師	新井 肇 (71) ＜令和5年4月＞ 修士（学校教育学）※
		生徒指導論
兼任	講師	稲葉（安藤） 小由紀 (47) ＜令和5年4月＞ 修士（学校教育学）※
		こども家庭支援の心理学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	藤原 照美 (66) ＜令和5年4月＞ 修士（学校教育学）
		保育内容「人間関係」の指導法 保育内容「環境」の指導法
兼任	准教授	山村 けい子 (63) ＜令和5年4月＞ 修士（学術）
		保育内容「人間関係」の指導法
兼任	教授	佐竹 邦子 (53) ＜令和5年4月＞ 修士（理学）
		コンピュータグラフィックスの基礎 数学基礎
兼任	准教授	永井 夕起子 (39) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※
		こどもと表現 保育内容「表現」の指導法 総合表現教育Ⅰ 総合表現教育Ⅱ
兼任	准教授	足立 法子 (44) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※
		子育て支援
兼任	准教授	野田 直恵 (61) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※
		日本語（読解と表現） 文学
兼任	准教授	三浦 摩美 (59) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※
		哲学
兼任	講師	相川 美和子 (64) ＜令和5年4月＞ 修士（学校教育学）
		初等家庭科内容論 初等家庭科教育法
兼任	講師	新井 肇 (71) ＜令和5年4月＞ 修士（学校教育学）※
		生徒指導・進路・キャリア教育の理論及び方法
兼任	講師	稲葉（安藤） 小由紀 (47) ＜令和5年4月＞ 修士（学校教育学）※
		こども家庭支援の心理学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	佐竹 邦子 (54) ＜令和6年4月＞ 修士（理学）
		コンピュータグラフィックスの基礎 数学基礎
兼任	准教授	永井 夕起子 (40) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		こどもと表現 保育内容「表現」の指導法 総合表現教育Ⅰ 総合表現教育Ⅱ
兼任	教授	野田 直恵 (62) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		日本語（読解と表現） 文学
兼任	准教授	三浦 摩美 (60) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		哲学
兼任	講師	相川 美和子 (65) ＜令和6年4月＞ 修士（学校教育学）
		初等家庭科内容論 初等家庭科教育法
兼任	講師	新井 肇 (72) ＜令和6年4月＞ 修士（学校教育学）※
		生徒指導・進路・キャリア教育の理論及び方法 教育相談
兼任	講師	稲葉（安藤） 小由紀 (48) ＜令和6年4月＞ 修士（学校教育学）※
		こども家庭支援の心理学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岩本 智依 (44) ＜令和5年4月＞ 法学修士
		人権の歴史
兼任	講師	大関 達也 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）
		教育の思想と原理 教育哲学
兼任	講師	重親 知左子 (56) ＜令和5年4月＞ 修士（言語文化学）
		国際理解と宗教Ⅱ（イスラム教）
兼任	講師	片岡 章彦 (53) ＜令和5年4月＞ 修士（学校教育学）
		こども家庭支援論
兼任	講師	高 秀美 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		韓国語（初級） 韓国語（中級）
兼任	講師	阪上 弘彬 (34) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）
		防災とコミュニティ
兼任	講師	瀬戸山 悠 (35) ＜令和5年4月＞ 臨床心理修士（専門職）※
		病弱児の教育課程と指導法 病弱教育総論
兼任	講師	高井 恵子 (50) ＜令和5年4月＞ 修士（学校教育学）
		こどもの食と栄養Ⅰ こどもの食と栄養Ⅱ
兼任	講師	田邊 実香 (51) ＜令和5年4月＞ 修士（臨床教育学）
		乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ
兼任	講師	筒井 茂喜 (61) ＜令和5年4月＞ 博士（学校教育学）
		初等体育科内容論 初等体育科教育法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岩本 智依 (44) ＜令和5年4月＞ 法学修士
		人権の歴史
兼任	講師	大関 達也 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）
		教育の思想と原理 教育哲学
兼任	講師	重親 知左子 (56) ＜令和5年4月＞ 修士（言語文化学）
		国際理解と宗教Ⅱ（イスラム教）
兼任	講師	片岡 章彦 (53) ＜令和5年4月＞ 修士（学校教育学）
		こども家庭支援論
兼任	講師	高 秀美 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		韓国語（初級） 韓国語（中級）
兼任	講師	阪上 弘彬 (34) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）
		防災とコミュニティ
兼任	講師	瀬戸山 悠 (35) ＜令和5年4月＞ 臨床心理修士（専門職）※
		病弱児の教育課程と指導法 病弱教育総論
兼任	講師	高井 恵子 (50) ＜令和5年4月＞ 修士（学校教育学）
		こどもの食と栄養Ⅰ こどもの食と栄養Ⅱ
兼任	講師	田邊 実香 (51) ＜令和5年4月＞ 修士（臨床教育学）
		乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ
兼任	講師	筒井 茂喜 (61) ＜令和5年4月＞ 博士（学校教育学）
		初等体育科内容論 初等体育科教育法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岩本 智依 (45) ＜令和6年4月＞ 法学修士
		人権の歴史
兼任	講師	大関 達也 (49) ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		教育の思想と原理 教育哲学
兼任	講師	重親 知左子 (57) ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）
		国際理解と宗教Ⅱ（イスラム教）
兼任	講師	高 秀美 (49) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		韓国語（初級） 韓国語（中級）
兼任	講師	阪上 弘彬 (35) ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		防災とコミュニティ
兼任	講師	瀬戸山 悠 (35) ＜令和5年4月＞ 臨床心理修士（専門職）※
		肢体不自由児の心理・生理・病理
兼任	講師	高井 恵子 (51) ＜令和6年4月＞ 修士（学校教育学）
		こどもの食と栄養Ⅰ こどもの食と栄養Ⅱ
兼任	講師	筒井 茂喜 (62) ＜令和6年4月＞ 博士（学校教育学）
		初等体育科内容論 初等体育科教育法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	修 暁寧 (68) ＜令和5年4月＞ 博士（学校教育学）
		中国語（初級） 中国語（中級）
兼任	講師	豊福 一 (45) ＜令和5年4月＞ 学士（法学）
		日本国憲法
兼任	講師	西村 美穂代 (59) ＜令和5年4月＞ 準学士
		こどもの保健 こどもの健康と安全
兼任	講師	野世（松林） 英水 (65) ＜令和5年4月＞ 学士（文学）
		国際理解と宗教Ⅰ（キリスト教）
兼任	講師	福島 真治 (35) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）
		学校組織マネジメント
兼任	講師	藤本 政則 (54) ＜令和5年4月＞ 修士（社会福祉学）
		社会的養護Ⅱ
兼任	講師	本多 真 (43) ＜令和5年4月＞ 博士（国際文化学）
		生命倫理学
兼任	講師	升井 洋至 (61) ＜令和5年4月＞ 博士（農学）
		化学
兼任	講師	松盛 美紀子 (44) ＜令和5年4月＞ 修士（アメリカ研究）※
		実用英語Ⅱ
兼任	講師	森 秀樹 (59) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※
		教育の思想と原理 教育哲学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	修 暁寧 (68) ＜令和5年4月＞ 博士（学校教育学）
		中国語（初級） 中国語（中級）
兼任	講師	豊福 一 (45) ＜令和5年4月＞ 学士（法学）
		日本国憲法
兼任	講師	西村 美穂代 (59) ＜令和5年4月＞ 準学士
		こどもの保健 こどもの健康と安全
兼任	講師	野世（松林） 英水 (65) ＜令和5年4月＞ 学士（文学）
		国際理解と宗教Ⅰ（キリスト教）
兼任	講師	福島 真治 (35) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）
		学校組織マネジメント
兼任	講師	藤本 政則 (54) ＜令和5年4月＞ 修士（社会福祉学）
		社会的養護Ⅱ
兼任	講師	井藤 美由紀 (57) ＜令和5年4月＞ 博士（人間・環境学）
		生命倫理学
兼任	講師	升井 洋至 (61) ＜令和5年4月＞ 博士（農学）
		化学
兼任	講師	松盛 美紀子 (44) ＜令和5年4月＞ 修士（アメリカ研究）※
		実用英語Ⅱ
兼任	講師	森 秀樹 (59) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※
		教育哲学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	修 暁寧 (69) ＜令和6年4月＞ 博士（学校教育学）
		中国語（初級） 中国語（中級）
兼任	講師	西村 美穂代 (60) ＜令和6年4月＞ 準学士
		こどもの保健 こどもの健康と安全
兼任	講師	野世（松林） 英水 (66) ＜令和6年4月＞ 学士（文学）
		国際理解と宗教Ⅰ（キリスト教）
兼任	講師	福島 真治 (36) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		学校組織マネジメント
兼任	講師	藤本 政則 (55) ＜令和6年4月＞ 修士（社会福祉学）
		社会的養護Ⅱ
兼任	講師	井藤 美由紀 (58) ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学）
		生命倫理学
兼任	講師	升井 洋至 (62) ＜令和6年4月＞ 博士（農学）
		化学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	牧田 衛活 (54) ＜令和5年4月＞ 学士（経済学）
		私のためのキャリア設計
兼任	講師	森田 麗子 (52) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）
		こどもと環境
兼任	講師	足立 昌夫 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（医学）
		知的障害児の心理・生理・病理 肢体不自由児の心理・生理・病理
兼任	講師	笠谷 佳代 (43) ＜令和6年4月＞ 学士（法律学）
		社会的養護Ⅰ
兼任	講師	大牛 英則 (54) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）
		初等英語科内容論 初等英語科教育法 情報活用の実践Ⅱ （デジタル教科書の活用を含む）
兼任	講師	高野 美由紀 (63) ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		病弱児の心理・生理・病理
兼任	講師	正井 隆晶 (62) ＜令和8年4月＞ 修士（教育学）
		視覚障害教育総論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	牧田 衛活 (54) ＜令和5年4月＞ 学士（経済学）
		私のためのキャリア設計
兼任	講師	森田 麗子 (52) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）
		こどもと環境
兼任	講師	足立 昌夫 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（医学）
		知的障害児の心理・生理・病理 肢体不自由児の心理・生理・病理
兼任	講師	笠谷 佳代 (43) ＜令和6年4月＞ 学士（法律学）
		社会的養護Ⅰ
兼任	講師	大牛 英則 (54) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）
		初等英語科内容論 初等英語科教育法 情報活用の実践Ⅱ （デジタル教科書の活用を含む）
兼任	講師	高野 美由紀 (63) ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		病弱児の心理・生理・病理
兼任	講師	正井 隆晶 (62) ＜令和8年4月＞ 修士（教育学）
		視覚障害教育総論
兼任	講師	別惣 淳二 (54) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※
		教職入門
兼任	講師	勝見 健二 (59) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）
		教育方法・技術論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	牧田 衛活 (55) ＜令和6年4月＞ 学士（経済学）
		私のためのキャリア設計
兼任	講師	足立 昌夫 (55) ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		知的障害児の心理・生理・病理 肢体不自由児の心理・生理・病理
兼任	講師	笠谷 佳代 (44) ＜令和6年4月＞ 学士（法律学）
		社会的養護Ⅰ
兼任	講師	大牛 英則 (55) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		初等英語科内容論 初等英語科教育法
兼任	講師	高野 美由紀 (64) ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		病弱児の心理・生理・病理
兼任	講師	正井 隆晶 (63) ＜令和8年4月＞ 修士（教育学）
		視覚障害教育総論
兼任	講師	別惣 淳二 (55) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		教職入門
兼任	講師	勝見 健二 (60) ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		総合的な学習の理論と実践 教育方法・技術論
兼任	講師	野寄 一恵 (62) ＜令和6年4月＞ 修士（学校教育）
		英語 実用英語Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
						兼任	講師	渋谷 義人 (63) ＜令和6年4月＞ 修士（学校教育学） 日本国憲法
						兼任	講師	西尾 和典 (67) ＜令和6年4月＞ 学士（体育学） 健康・スポーツ科学Ⅱ
						兼任	講師	森 歩夢 (44) ＜令和6年4月＞ 修士（心理学） 子育て支援
						兼任	講師	増田 純一 (51) ＜令和6年4月＞ 修士（文学） 英語文学概論 英語文学作品研究 英語文学演習 英語文学特論
						兼任	講師	石黒 栄亀 (55) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 病弱児の心理・生理・病理
						兼任	講師	西上 優子 (69) ＜令和6年4月＞ 教育学修士 病弱児の教育課程と指導法 病弱教育総論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・教育課程充実の理由により、令和5年4月に宮崎光世兼担教授就任。
- ・教育内容充実の理由により、令和5年4月に別惣淳二兼任教授就任。
- ・令和5年4月、井上朋子専任准教授が専任教授に昇任。
- ・令和5年4月、小倉毅兼担准教授が兼担教授に昇任。
- ・令和5年4月、斎藤正寿兼担准教授が兼担教授に昇任。
- ・令和5年4月、穂積隆広兼担准教授が兼担教授に昇任。
- ・令和5年4月、本多彩兼担准教授が兼担教授に昇任。
- ・令和5年4月、Cuomo, Ozase Martin兼担講師が兼担准教授に昇任。
- ・令和5年4月、山崎一諒兼担講師が兼担准教授に昇任。
- ・令和5年4月、本多真兼任講師の就任辞退に伴い、新たに井藤美由紀兼任講師が就任。

【令和6年度】

- ・教育内容充実の理由により、令和6年4月に高畑芳美専任教授採用。
- ・教育課程充実の理由により、令和6年4月に保坂芳男専任教授採用。
- ・教育課程充実の理由により、令和6年4月に笹平康弘専任教授就任。
- ・教育課程充実の理由により、令和6年4月にCuomo, Ozase Martin専任准教授就任。
- ・令和6年4月、藤野正和専任講師が専任准教授に昇任。
- ・令和6年4月、立本千寿子専任准教授が専任教授に昇進。
- ・令和6年4月、矢野琢也兼担准教授が兼担教授に昇進。
- ・令和6年4月、樽本つぐみ兼担准教授が兼担教授に昇進。
- ・令和6年4月、野田直恵兼任准教授が兼任教授に昇進。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合** は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

- (注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) - ② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

- (注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
- ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
10	8	2	0	20	0	13	8	1	0	22	0
(10)	(8)	(2)	(0)	(20)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
13	8	1	0	22	0	13	8	1	0	22	0
[3]	[0]	[Δ1]	[0]	[2]	[0]	[3]	[0]	[Δ1]	[0]	[2]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員のう ち、定年を延長して 採用する教員数
67 歳	2 名	3 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{22}{20} = \boxed{110} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{22} = \boxed{9.09} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
							該当なし						
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	教授	古田 薫	R6.3	必修	クラスゼミナールⅣ	①	死亡による退職（6）						
				必修	卒業研究Ⅰ	①							
				必修	卒業研究Ⅱ	①							
				必修	卒業研究Ⅲ	①							
				必修	卒業研究Ⅳ	①							
				選択	インターンシップⅡ	①							
				必修	教職入門	①							
				必修	教育制度論	③							
合 計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1	人	必修	7	科目	必修	6	科目	必修	0	科目	必修	1	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	7	科目	計	0	科目	計	1	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1	人	必修	7 科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	1 科目		
		選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	8 科目	計	7 科目	計	0 科目	計	1 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{1}{20} = 5\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
						該当なし				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」

古田薫教授の後任未定の科目については、令和6年度Ⅱ期までに担当者を配置する。Ⅰ期担当科目については、複数教員で担当するため、授業運営及び学生の履修等に影響はない。

「学生への周知」

学生に対しては、学期開始時期に実施するオリエンテーション期間内において説明を行った。

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和4年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。 看護学研究科 看護学専攻（D）	【A C】 指摘事項 (改善) 定年規則に定める退職年齢（年度末で67歳）の教員は、本研究科の完成年度末をもって契約期間満了により退職した。「看護学部等人事構想委員会」において定年退職者にあわせた計画的な教員採用計画を策定し、令和3年度より公募を開始した。本計画に基づき、令和5年度に新たに3人を新規採用した（A0教員審査済）。引き続き、採用計画に基づき、年齢構成、教育経験、研究領域のバランスを踏まえた採用人事を行っていく。（5）	履行済
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	教育内容の充実等を通じ、収容定員未充足の改善に努めること。 (教育学部教育学科)	【A C】 指摘事項 (改善) 昨年度の学生募集については、まずは教育学科の新設広報の認知拡大を図るために、各種制作物を作成（簡易リーフレット、ポスター、特設サイト等）するとともに、受験媒体及びWEB広告の掲出など広く広報を実施した。また、年間318件の進学相談会（校内・会場）に積極的に参加し、高校生（約4,250人、低学年も含む）との接触機会をつくった。高校内で行われる進学相談会（模擬授業・分野別）には学科教員も参加（延べ2校29人と接触）した。さらに学科の教育内容の理解促進や魅力発信をさらに強化するため、高校訪問（指定校通知含む）や公式サイト、受験生応援サイトを活用した発信に加え、SNS（Instagram、Facebook）による情報発信も実施した。結果、オープンキャンパスへの動員の248人（改組前のこども福祉学科と比較して1.58倍）に繋がり、参加者の入試への出願率50.5%となった。志願者の増加（昨年の192.3%）、入学者の増加（昨年の181.6%）となったが、留意事項を改善できるような学生数は確保できなかった。今年度は、高校生の進路決定の早期化を念頭に置きながら活動を行うとともに、入学者を増加させるべく、昨年度の活動を基本にさらに内容を充実させ、附属校や出願・入学実績のある重点校への募集活動を積極的に実施していく。（6）	履行中 昨年度の学生募集については、教育学科の開設2年目広報の認知拡大を図るために、年間340件の進学相談会（校内・会場）に積極的に参加し、高校生（約4,500人、低学年も含む）との接触機会をつくった。高校で行われる進学相談会（模擬授業・分野別）には学科教員が積極的に参加（延べ11校227人と接触）した。さらに学科の教育内容の理解促進や魅力発信をさらに強化するため、公式サイトや受験生応援サイトを活用した発信に加え、SNS（Instagram）による情報発信も実施した。併せて、簡易リーフレットを作成し、当学科を志望する高校生に広く配付した。また、年内とりわけ専願制入試の入学獲得を目的とした育成型のスカウティング入試を導入や指定校数の増加など、志願者獲得に努めた。結果、オープンキャンパスへの動員の増加（昨年の1.13倍）に繋がったが、参加者の入試への出願率は38.2%（昨年50.5%）と低調となり、志願者の減少（昨年の81.6%）、入学者の減少（昨年の97.1%）となり、留意事項を改善できるような学生数は確保できなかった。今年度は、高校生の進路決定の継続的な早期化を念頭に置きながら活動を行うとともに、入学者を増加させるべく、昨年度の活動を基本に、教育学科の開設3年目広報を改めて拡充（特設サイト及び簡易リーフレット、ポスター制作、SNS認知施策等）する。課題であるオープンキャンパス参加者の出願率向上に向けて、学科に入試広報専門アドバイザー（教員）を配置し、オープンキャンパスの内容を充実させるとともに、高校生とのコミュニケーションを強化し、スカウティング入試での入学獲得（年内専願制）強化する。また、附属校や出願・入学実績のある重点校はもとより新規層の獲得においても募集活動を積極的に実施していく。（6）

兵庫大学の既設学科等（健康科学部栄養マネジメント学科）の収容定員未充足の改善に努めること。		【ＡＣ】 指摘事項 (改善)	昨年度の学生募集については、年間318件の進学相談会（校内・会場）に積極的に参加し、高校生（約4,250人、低学年も含む）との接触機会をつくった。高校で行われる進学相談会（模擬授業・分野別）には学科教員が参加（延べ5校41人と接触）した。さらに学科の教育内容の理解促進や魅力発信をさらに強化するため、公式サイトや受験生応援サイトを活用した発信に加え、SNS（Instagram）による情報発信も実施した。 しかしながら、結果は、18歳人口の減少や栄養分野の不人気もあり、オープンキャンパスへの動員は減少（昨年77.2%）し、参加者の入試の出願率も48.8%と伸びず、志願者の減少（昨年87.7%）、入学者の減少（昨年82.8%）となり、留意事項を改善できるような学生数は確保できなかった。 今年度は、高校生の進路決定の早期化を念頭に置きながら活動を行うとともに、入学者を増加させるべく、昨年度の活動を基本にさらに内容を充実させ、附属校や出願・入学実績のある重点校への募集活動を積極的に実施していく。（６）	履行中	昨年度の学生募集については、年間340件の進学相談会（校内・会場）に積極的に参加し、高校生（約4,500人、低学年も含む）との接触機会をつくった。高校で行われる進学相談会（模擬授業・分野別）には学科教員が積極的に参加（延べ7校82人と接触）した。さらに学科の教育内容の理解促進や魅力発信をさらに強化するため、公式サイトや受験生応援サイトを活用した発信に加え、大学公式SNSに加え、学科独自のSNS運用により、学科の学びが分かる授業の様子や学科教員の紹介など、高校生への情報発信を強化した。 また、年内とりわけ専願制入試の入学者獲得を目的とした育成型のスカウティング入試を導入し、志願者獲得に努めた。 結果、オープンキャンパスへの動員の増加（昨年1.22倍）に繋がったが、参加者の入試への出願率は39.6%（昨年48.8%）と低調となり、志願者の減少（昨年の66.0%）、入学者の減少（昨年の75.5%）となり、留意事項を改善できるような学生数は確保できなかった。 今年度は、高校生の進路決定の継続的な早期化を念頭に置きながら活動を行うとともに、入学者を増加させるべく、昨年度の活動を基本に、さらなる学生募集の強化を図るため、学科に入試広報専門アドバイザー（教員）を配置し、オープンキャンパスの内容を充実させるとともに、高校生とのコミュニケーションを強化し、スカウティング入試での入学者獲得（年内専願制）を強化する。 また、本学科の課題の1つでもある競合校と比較して学費が高いことに対する改善案として新たに導入した健康科学部奨学制度（年間30万円の給付、最長4年間）を広く周知し、附属校や出願・入学実績のある重点校への募集活動を積極的に実施していく。（６）
---	--	----------------------	---	-----	--

（注）・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和５年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和５年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

【令和５年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和５年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。

【令和６年度から新たに調査対象となった学科等又は令和５年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<教育学部 教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 施設・設備 a 図書54,864〔6,910〕冊 b 学術雑誌〔うち外国書〕1,699〔236〕冊 c 電子ジャーナル〔うち外国書〕3〔1〕種 d 視聴覚資料6,005種	図書2,503〔287〕冊増 学術雑誌21冊増〔外国書21冊減〕 電子ジャーナル3種減〔外国書1種減〕 視聴覚資料14種増 当学科に関連する書籍を含め、教育の充実を図った。 なお、電子ジャーナルはデータベースへの切り替えを行ったため、影響はない。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 兵庫大学・兵庫大学短期大学部FD・SD推進委員会規程（別紙1） b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 第1回 令和5年 4月12日（水） 出席6名 第2回 令和5年 5月18日（木） 出席8名 第3回 令和5年 6月15日（金） 出席7名 第4回 令和5年 7月20日（木） 出席8名 第5回 令和5年 9月26日（火） 出席8名 第6回 令和5年10月30日（月） 出席8名 第7回 令和5年11月24日（金） 出席8名 第8回 令和5年12月11日（月） 出席8名 第9回 令和6年 1月23日（火） 出席8名 第10回 令和6年 2月21日（水） 出席7名 c 委員会の審議事項等 第1回 (1) FD・SD活動について ・ 授業公開について (2) 当年度事業計画について (3) 次回の日程案について 第2回 (1) 2023年度FD・SD活動について ① 規程の確認について
--

- ② 2023年度FD・SD活動について
- ③ 役割分担について
- ④ 2023年度予算について
- (2) NewsLetterの発信形態の変更について
- (3) 各活動について
 - ① 授業公開について
 - ② 分科会の開催について
- (4) 次回の日程案について

- 第3回 (1) FD・SD活動について
 - ① 教職員研修会・カフェについて
 - ② 授業アンケートについて
 - ③ 授業公開について
 - ④ (仮) FD活動インフォメーション (旧FD・SD Newsletter) について
- (2) 次回の日程案について

- 第4回 (1) FD・SD活動について
 - ① 教職員カフェについて
 - ② 授業アンケートについて
 - ③ 授業公開について
 - ④ (仮) FD広報 (旧FD・SD Newsletter) について
- (2) 次回の日程案について

- 第5回 (1) FD・SD活動について
 - ① 教職員研修会について
 - ② カフェについて
 - ③ 授業アンケートについて
 - ④ 授業公開について
 - ⑤ FD広報 (旧FD・SD Newsletter) について
- (2) 次回の日程案について

- 第6回 (1) FD・SD活動について
 - ① 教職員研修会・カフェについて
 - ② カフェについて
 - ③ 授業アンケートについて
 - ④ 授業公開について
 - ⑤ FD広報について
- (2) 次回の日程案について

- 第7回 (1) FD・SD活動について
 - ① 教職員研修会・カフェについて
 - ② 授業アンケートについて
 - ③ FD広報について
- (2) 次回の日程案について

- 第8回 (1) FD・SD活動について
 - ① 教職員FD・SD研修会・カフェについて

- ② 授業公開について
- ③ 2023年度Ⅱ期授業アンケート実施について
- (2) 次回の日程案について

第9回 (1) FD・SDオフィス推進委員会次年度予算申請について

- ① 次年度予算申請について
- (2) FD・SD活動について
 - ① FD・SD研修会について
 - ② 教職員カフェについて
 - ③ 授業アンケートについて
 - ④ FD広報について
- (3) 令和6年度FD・SDカレンダーについて
- (4) 次回の日程案について

第10回 (1) FD・SD活動について（報告・ふりかえり）

- ① 教職員研修会について
- ② 教職員カフェについて
- ③ 授業アンケートについて
- ④ 授業公開について
- ⑤ FD広報について
- (2) 次年度事業計画について
- (3) 次回の日程案について

② 実施状況

a 実施内容

1. 新任教職員研修
2. 学修成果の可視化（兵大「学びのカルテ」、PROGテストの実施）
3. 授業アンケート（Ⅰ期授業アンケート、Ⅱ期授業アンケート）
4. 授業公開（Ⅰ期授業公開、Ⅱ期授業公開）
5. 教職員FD・SD研修会及びFD 実践講座
6. 教職員カフェ
7. FD広報 ※FD・SDニュースレターの廃刊

b 実施方法

1. 新任教職員研修
年度初めに新任教職員対象に「新任教職員研修プログラム」を実施した。
2. 学修成果の可視化：学修および課外活動等のポートフォリオ（兵大「学びのカルテ」）の活用推進
兵大Basics“A”「日本語（読解と表現）」「英語」「コンピュータ演習」の基礎力テストを実施して、学生の基礎力を把握し、ふり返りの資料とした。また、専門教育科目を学ぶために必要な基礎力を兵大Basics“B”として学科ごとに設定し、ルーブリック評価を用いた自己評価などの取り組みを実施した。兵大Basics“C”では、5つの汎用的能力（ジェネリックスキル）を設定している。これらの能力を測る目的で外部アセスメントテストを実施した。
学生向けに結果をふり返る解説会を、教員向けにデータ分析の結果報告会を実施した。専門教育の学修成果については、「兵大プロフェッショナル力」として、学科ごとに専門科目を選定し指標化して成長度を把握できるように設計し実施した。

3. 授業アンケート

I 期学期末(8月)に、Webによる授業アンケートを実施した。アンケート結果を集約して、科目担当者に返却するとともに、結果に対する教員コメントを学生に公開した。II 期学期末(1月)に、Webによる授業アンケートを実施した。アンケート結果を集約して、科目担当者に返却するとともに、結果に対する教員コメントを学生に公開した。

4. 授業公開

I 期・II 期ともに、全学科において公開科目を設定し、公開期間（およそ1ヶ月）において教職員による授業参観を実施した。参観者は、参観シートを記入し、授業公開者へフィードバックを行った。

5. 教職員FD・SD研修会他（オンライン開催）

第1回は、兵大グッド・プラクティス賞（GP賞）受賞者による講演を行った。

第2回は、「GIGAスクール構想」により、ICT環境の整備が急速に進められ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けた教育の展開を受けて、今後の大学に求められるGIGA世代への対応について、専門家を招き講演形式により研修を行った。

また、本年度から主体的に学習する学生とその学習を支援する教員のために、今後、どのような「授業デザイン」が必要かについて、理論と実践から学ぶべく研修会とは別に講座を開設した。

6. 教職員カフェ（対面開催）

教職員FD・SD研修会と連携して、パブリックビューイング方式で視聴し対面で意見交換会を開催した。

7. FD広報

FD専用ホームページを開設し、本学のFD活動の内容を情報発信している。適宜、大学コンソーシアムひょうご神戸等の関連情報を掲載している。

なお、年2回発刊の「兵庫大学・兵庫大学短期大学部FD・SDニュースレター」は廃刊した。

c. 開催状況（教員の参加状況含む）

1. 新任教職員研修

（教育分野）令和5年4月3日（月）開催 対象者30人、参加者30人（参加率100.0%）

（研究分野及び地域連携関連）令和5年4月4日（火）開催 対象者30人、参加者30人（参加率100.0%）

2. 学修成果の可視化

兵大Basics“A”（「日本語（読解と表現）」「英語」「コンピュータ演習」）の基礎力テストを実施して、学生の基礎力を把握し、カルテ化してふり返り資料として、学生および学科担当者に返却している。

また、専門教育に必要な基礎力を兵大Basics“B”について、学科ごとにルーブリック評価を導入している。

3. 兵大「学びのカルテ」の作成

兵大BasicsABC、兵大プロフェッショナル力のほか、成績やGPA、実習・インターシップ参加、課外活動等を

「学びのカルテ」として集約し、LMS（manaba）内で総合的ポートフォリオとして記録の蓄積し、学生に情報の活用を促進した。具体的な活用として、年2回以上教員と学生が面談する（「面談システム」）を全学で実施して、学生のや「自己分析」や「ふりかえり」ながら学修や活動に向かう態度や資質・能力を向上させた。

4. 兵大Basics“C”（PROGテスト）の実施

兵大Basics“C”は、大学生活を通して身につけるコミュニケーション力、人間関係調整力、情報分析力、問題対処力、構想力を指している。兵大Basics“C”（PROGテスト）では「リテラシー」「コンピテンシー」の2種類のテストを実施し、1年次の学生に対しては、PROG解説会で結果を確認しながらグループワークを行い、各人の強み・弱みを認識し、学業生活や学生生活の目標を立てることを目的としている。3年次では、1年次との比較による成長分析を行うことで、キャリア形成にも役立てている。本取組は学科単位であり、学科の担当教員も参加する。

5. 授業アンケート

- ・Ⅰ期期末：令和5年7月3日（月）～8月26日（土） 有効回答率 41.85%

Ⅰ期全科目を対象に授業内及び授業外で実施（実施開始日までに授業が終了した科目も含む）

- ・Ⅱ期期末：令和5年12月19日（火）～令和6年2月9日（金） 回答率 32.63%

Ⅱ期全科目を対象に授業内及び授業外で実施（実施開始日までに授業が終了した科目も含む）

（学生に対する実施後の対応）

- ・科目ごとに教員から授業アンケート結果をふまえた教員のふり返し内容や受講学生へアドバイス等をコメントシートにまとめて伝える。情報はまとめて、教学情報システムで掲示する。
- ・授業アンケートの詳細な集計結果（大学、短大、各学科別）を学生に対して、また、外部への情報公開として大学ホームページ等で公表している。

（教員に対する実施後の対応）

- ・アンケート結果を集約して、科目担当者に返却する。科目担当者は集計結果および自由記述内容を確認し、コメントシートを記入する。コメントシートは、学生のみならず、学科長および学部長に共有され、カリキュラム改善および授業改善に活用される。

（授業アンケート結果の活用：兵大グッド・プラクティス賞による表彰）

- ・授業アンケートの結果から、授業実施や学生の満足度等に関する項目を得点化し、高得点の科目（教員）を表彰し、授業改善および教育の質の向上に向けた風土の醸成を図る。

6. 授業公開

- ・Ⅰ期：令和5年6月5日（月）～7月1日（土）

公開科目数 112科目 授業参観延べ人数 136人（専任教員 112人、専任職員 24人）

- ・Ⅱ期：令和5年10月23日（月）～ 11月25日（土）

公開科目数 73科目 授業参観延べ人数 136人（専任教員 112人、専任職員 24人）

7. 教職員FD・SD研修会（全回オンライン研修会）

- ・第1回教職員FD・SD研修会：令和5年7月5日（水）

参加者：140名（専任教員 115人、専任職員 25人）

テーマ：「受賞対象の授業での工夫」講師4人

- ・第2回教職員FD・SD研修会：令和5年11月8日（水）

参加者：145名（専任教員 119人、専任職員 23人 大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校他3人）

テーマ：「GIGA世代と大学教育に求められる変化」

- ・第3回教職員FD・SD研修会：令和6年2月15日（木）

参加者：116名（専任教員 97人、専任職員 18人 非常勤教員1人）

テーマ：「受賞対象の授業での工夫」講師4人

8. FD 実践講座（オンライン研修会）

- ・FD 実践講座（オンライン）：令和6年3月7日（木）

参加者：79名（専任教員 66人、専任職員 7人、その他6人）

テーマ：「主体的に学ぶ学生を育てるために ～ 授業と学習環境のデザイン ～」（講師1人）

FD 実践講座について、主体的な学習者を育てる学習環境や授業の構築が喫緊の課題となっている。機器操作やICT スキルを組み込むだけの授業ではなく、主体的に学習する学生とその学習を支援する教員のために、今後、どのような「授業デザイン」が必要かについて、理論と実践から学ぶべく講座を開設した。

9. 教職員カフェ（オンライン）

- ・第1回 令和5年11月8日（水） 参加者 20人（専任教員 19人、専任職員1人）

【テーマ】「GIGA世代と大学教育に求められる変化」

オンライン研修会をパブリックビューイングで視聴し、その後意見交換会を実施する形式で行った。コロナ禍以降初めてとなる対面での実施でもあったことから、気楽な雰囲気の中で、自由に意見を交換し、身近なことを語り合うことを趣旨として実施し、懇親を深めることができた。

- ・第2回 令和6年2月15日（木） 参加者 13人（教員 12人、専任職員 1人）

【テーマ】「受賞対象の授業での工夫」

前回の研修会のテーマに関連した内容について、視聴後に意見交換を行った。

10. FD広報（ホームページから情報発信）

兵庫大学ホームページのメニューに専用ページ兵庫大学の「FD活動」を設定した。

内容は、実施体制、授業アンケート、授業公開、FD修会、教職員カフェ、これまでのFD活動等である。情報発信やFD等に関する情報提供のツールとして活用していく。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業公開において、授業アンケート結果を活用して授与される「兵庫大学グッド・プラクティス賞（兵大GP賞）」受賞者が担当する科目に多くの参観者があり、授業改善の相互研鑽である授業公開の活性化に結びついている。これは、教職員FD・SD研修会において、兵大GP賞受賞者の取り組みや工夫を共有したことの効果でもある。この教職員FD・SD研修会は全員参加を原則としており、授業改善のための中心的な取り組みとなっている。

2023年度は、「大学のGIGA世代への対応」「授業と学修環境のデザイン」など高等教育の動向や大学教育の重要なテーマを設定することにより、学生の理解や授業改善への関心を高めることができた。具体的には、第2回教職員研修会において、兵庫県の初等・中等教育の状況を踏まえ、今後大学教育に携わる者としてどのように対応していくのかについて考える機会となった。また、DX社会に必要な人材育成としての高等教育のあり方やカリキュラム改善や授業改善に必要な視点を獲得することができた。

教職員カフェは、オンラインの教職員研修会をパブリックビューイング方式で対面視聴し、最後に意見交換を行った。コロナ禍以降初めてとなる対面での実施でもあり、気楽な雰囲気の中で、自由に意見を交換し、身近なことを語り合うことを趣旨として実施し、懇親を深めることができた。このカフェは、学部学科の教員や職員がチームとして教育や学生指導に取り組む土台づくりの役割を果たしている。

2023年度Ⅰ・Ⅱ期授業アンケートは、従来通り、授業科目ごとにwebで実施し、実施後は学生に対しアンケート結果の概要を公表した。また、教員に対しては、アンケート結果をフィードバックした上で、その結果に対する授業改善に向けたコメントを記載してもらい学生に公表した。学生と教員がともに授業をふり返ることで、学修者主体の授業に向けた改善ができていく。また、アンケート結果は、教育と学修を全学の視点から考察するデータ資料として、情報・IR室により分析し学士課程の検討にも役立てている。

研修会の第1回及び第3回は、学生対象「授業アンケート」結果から評価が高い教員を表彰する制度の兵大グッド・プラクティス賞（GP賞）、その表彰者を講師として授業改善に係る講演会を実施した。その後、GP賞受賞者の授業公開科目の参加者が急増するなど「授業公開」への関心が高まり、FD活動が活性化できた。また、GP賞と連携した研修会は教員の授業改善への研鑽の機会となり相乗効果をもたらした。第2回はテーマを「GIGA世代と大学教育に求められる変化」とし、兵庫県のICT教育の現状と今後を考察し、GIGA世代に対応した大学教育の在り方を探り、今後のDX社会の進展による高等教育への影響や求められる人材像などを中心に考察し知見を深めた。

2023年度からこれからの課題である主体的な学習者を育てる学習環境や授業の構築を目指し、機器操作やICTスキルを組み込むだけの授業ではなく、主体的に学習する学生とその学習を支援する教員のために、今後、どのような「授業デザイン」が必要かについて、理論と実践から学ばべく研修会とは別に講座を実施した。

大学のホームページに新たに「FD活動」のページを開設した。FD活動や取り組みの実施内容や結果などの情報を迅速に発信でき、大学全体としての教育に対する取り組み姿勢や指針等を内部・外部に向けて伝えることができていく。

以上の活動を通じて、教員相互、また教職員間において、組織的に教育力向上に取り組む風土醸成を図ることができ、教育改革の必要性和課題を認識することができている。また、実質的な授業改善に関する知識と技術を獲得することができている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

年2回実施した。

- ・2023年度Ⅰ期 対象：全科目（Webでの実施）
- ・2023年度Ⅱ期 対象：全科目（Webでの実施）

b 教員や学生への公開状況、方法等

（詳細は、②c開催状況を参照）

教学情報システム、本学ホームページ

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙2のとおり

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和6年6月12日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開（令和5年6月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和5年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受け、適合判定を受けた。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ☒ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ ☐ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

兵庫大学・兵庫大学短期大学部 FD・SD オフィス規程

〔平成30年3月28日〕〔平成30年3月28日制定〕
学 長 決 定 兵 大 程 第 259 号

(趣旨)

第1条 この規程は、兵庫大学・兵庫大学短期大学部（以下、「本学」という。）が設置する兵庫大学・兵庫大学短期大学部 FD・SD オフィス（以下、「オフィス」という。）の組織及び運営について、必要な事項を定める。

(目的)

第2条 オフィスは、学長の直轄組織として設置し、本学の教育目標を達成するため、教育改革に係る企画立案等を行う。また、学部学科、共通教育機構および各部署と協働することにより組織的な FD と SD を推進し、教育活動および学生支援を充実させ、教育の質の向上を図ることを目的とする。

(事業)

第3条 オフィスは、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 教育内容・方法の改善に関する事
- (2) 教材開発・授業改善に関する事
- (3) 教育効果および学修成果の評価方法の開発・実施に関する事
- (4) 教職員間の情報共有・交流の促進に関する事
- (5) 本学の教育理念をふまえた教育研究活動・地域貢献の促進に関する事
- (6) FD・SD に関する学内外の情報、資料等の収集及び発信に関する事
- (7) FD・SD に関する調査・研究に関する事
- (8) 教育の質の向上および教職協働に関する事
- (9) その他、FD・SD に関する事

(室長)

第4条 オフィスに、室長を置く。

2 室長は、本学教員の中から学長が任命する。

3 室長は、オフィスの業務を統括する。

(オフィス会議)

第5条 オフィスに第3条に規定する事業の方針およびオフィスに関する重要な事項を審議するため、オフィス会議を置く。

2 オフィス会議は、次に掲げる者で構成する。

- (1) オフィス室長
- (2) 副学長（教育担当）
- (3) 教学部長
- (4) 共通教育機構長
- (5) FD・SD オフィス推進委員長

(6) その他、学長が必要と認めた者

3 オフィス会議は、室長がその議長となる。

4 議長に事故あるときは、あらかじめ、議長の指名する委員がその職務を行う。

(推進委員会)

第6条 オフィスに、全学的FD・SDを推進するため、FD・SDオフィス推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、第3条に規定する事業の運営・実施に係る審議を行い、その企画・立案・実施を行う。

3 委員会は、次に掲げる者で構成する。

(1) オフィス室長

(2) 学長が委嘱する職員

4 前項第2号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

5 前項第2号の委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

6 委員会に委員長を置く。

7 前項の委員長は、学長が指名する。

8 委員長は委員会を招集し、その議長となる。

9 委員長に事故あるときは、あらかじめ、委員長の指名する委員がその職務を行う。

(他の部署等との連携)

第7条 業務を遂行するに当たって必要があるときは、関係する教職員及び学外有識者等にオフィス会議あるいは推進委員会への出席を求め、意見を聴くことができる。

(事務)

第8条 オフィスの事務は、教務課及び総務課が行う。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、大学運営会議の議を経て、学長が決定する。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか、オフィスに関し必要な事項は、学長が定める。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規定は、令和2年4月1日から施行する。

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 設置の趣旨の概要

教育学部は、教育者・保育者としての使命感や情熱を持ち、発達や学びの連続性を踏まえた就学前教育及び学校教育に関する高度な専門知識と優れた技能・実践力を有し、子どもの個性と環境の多様性に対応しながら、共生社会の一員として地域社会に貢献できる人材を養成する。

教育学科は、幅広い教養と教育・保育に関する専門的な知識と技能を有し、多様な人々と協働しながら、子どもの多様性を理解しつつ、興味・関心を引き出し、子どもの主体的学びや自己形成を導くための教育を展開することができる学校教育や幼児教育、児童福祉の専門家を養成する。

2 設置の趣旨の達成状況

設置後1年余を経過し、設置の趣旨に示す人材養成を目指し、多様な取り組みを実施し、それぞれ成果が出ている状況である。特色ある取り組みについて詳細を次に示す。

初年次教育では、「クラスゼミナールⅠ」に引き続き、Ⅱ期の「クラスゼミナールⅡ」では、当科目の到達目標である自律的な学習者となるため、専門の学びを深め、教育・保育・子育て支援の諸問題に関心を持ち、グループワーク等を通じて、課題解決型学習の実践やグループ学習で協働を体験し、子どもの主体的学びを導くための教育展開の手法や教育・保育に関する課題を多角的に理解し、教育者・保育者として必要な知識や技術への理解を深めた。

1年次後期には「ふれあい体験活動」によって、幼稚園、小学校及び特別支援学校等の現場での見学・観察を通じて教育者としての第一歩を踏み出すことができた。また、地域貢献活動の一環として、大学の地元である加古川市内の小学校3年生以上を対象に、駅前サテライトキャンパスを会場に夏休みの自由研究のサポートや宿題、日頃の悩み相談を行う夏休み教室を開催した。学生たちは、当日の企画内容の検討や運営に積極的に携わり、小学校3年生から6年生と複数の学年が混在して参加する環境の中で、一人ひとりの子どもの個性と多様性に対応する経験を得ることができた。